美旗市民センターロビーほか空調設備改修工事

図　面　リ　ス　ト					
No.	図　面　名　称	No.	図　面　名　称	No.	図　面　名　称
A－00	表紙・図面リスト	E－01	特記仕様書	M－01	特記仕様書
A－01	改修工事特記仕様書１	E－02	１階平面図（空調電源設備）	M－02	機器表
A－02	改修工事特記仕様書２	E－03	２階平面図（空調電源設備）	M－03	１階平面図（空気調和設備）
A－03	配置図	E－04	ＰＨ階平面図（空調電源設備）	M－04	２階平面図（空気調和設備）
A－04	１階平面図			M－05	ＰＨ階平面図（空気調和設備）
A－05	２階平面図			M－06	既設１階平面図（空気調和設備）
A－06	ＰＨ階平面図			M－07	既設２階平面図（空気調和設備）
A－07	断面図			M－08	既設ＰＨ階平面図（空気調和設備）

HAKUHO Architech
白鳳アーキテック　株式会社

特記		工事名	美旗市民センターロビーほか空調設備改修工事		
		図名	表紙・図面リスト	縮尺	－	図面番号	A－00

HAKUHO Architech
白鳳アーキテック　株式会社
１級建築士事務所　登録（三重１－１９８７号）
〒518－0775　三重県名張市希央台5番町109番地
ＴＥＬ　0595-48-6066　ＦＡＸ　0595-48-6067
E-mail　h.a.t@tuba.ocn.ne.jp

承認				管理建築士	印
	田中	西尾	安井	１級　２５６６３０号 萱室　敦司	萱室
図面提出日	２０２４／０７／３１				

改 修 工 事 特 記 仕 様 書

Ⅰ．工事名称　　美旗市民センターロビーほか空調設備改修工事
Ⅱ．工事概要
　1　工事場所　　三重県名張市美旗町南西原２２９番地の３
　2　敷地面積　　３２３５．３５m2
　3　工事内容
　　棟名称　　市民センター棟
　　構造　　鉄筋コンクリート造　地上２階＋ＰＨ階
　　建築面積　　７４４．１７㎡
　　延べ面積　　１６４３．８３㎡
　　工事項目　　改修工事

Ⅲ．建築改修工事仕様
　1　共通仕様
　　図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）最新年版（以下「改修標準仕様書」という。）」による。

　2　特記仕様
　　(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
　　(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
　　(3) 項目欄に記載の（　）内表示番号は改修標準仕様書の該当項目等を示す。

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	① 適用基準等	1）公共建築工事標準仕様書（建築工事編） 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（最新年版） 2）建築工事標準詳細図 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（最新年版）
	② 施工条件 (1.3.5)	・ (・) 監督員と協議し決定する。 施工可能日　・　指定なし ・　一部に土、日曜日、祝祭日施工あり 施工可能時間帯　・　指定なし　・　時　～　時 概成工期　・　指定なし　・　年　月　日 ・　工事着手は住民説明会（受注者も出席のこと）開催後とする。
	3 部分引渡し、部分使用	・　部分引き渡しあり　・　部分使用あり 指定部分（　　） 時　期（平成　年　月　日～　）
	4 埋蔵文化財調査	埋蔵文化財の調査が行われる場合は協力すること。 ・　発掘調査等の実施あり ・　発見された場合、発掘調査等の実施あり
	⑤ 発生材の処理等 (1.3.12)	(・) 本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。 工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。 分別解体等の方法 工程 ／ 作業の有無 ／ 分別解体等の方法 造成等 ／ ・有 (・)無 ／ ・手作業 ・手作業、機械作業の併用 基礎・基礎ぐい ／ ・有 (・)無 ／ ・手作業 ・手作業、機械作業の併用 上部構造部分・外装 ／ ・有 (・)無 ／ ・手作業 ・手作業、機械作業の併用 屋根 ／ ・有 (・)無 ／ ・手作業 ・手作業、機械作業の併用 建築設備・内装等 ／ (・)有 ・ 無 ／ ・手作業 (・)手作業、機械作業の併用 その他（　　） ／ ・有 ・ 無 ／ ・手作業 ・手作業、機械作業の併用 ・ 引き渡しを要するもの　・ 有（　　） ・ 特別管理産業廃棄物　・ 有（　　）　処理方法（　　） ・ 現場において再利用を図るもの　（　　） ・ 再資源化を図るもの　・ コンクリート塊　・ アスファルトコンクリート塊　・ 建設発生木材 (・)成形板等の解体・撤去にあたっては、事前に石綿含有に係る施工調査を行う。含有が判明した等の場合、改修標準仕様書(9.1.5)に従い処理する。
	⑥ 建設副産物情報交換システムの利用	再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合、受注者は受注時において工事請負代金額が100万円以上の工事については、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用促進計画書（実施書）」を監督員に提出することとし、工事着手前にはJACICOが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータを入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。
	7 三重県産業廃棄物税	本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の４月１日から８月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。 なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。
	⑧ 電気保安技術者 (1.3.3)	配置する
	⑨ 技能士 (1.6.2)	職種別に可能なものについては、積極的に活用のこと。
	⑩ 施工数量調査 (1.5.2)	調査範囲及び調査方法　・　工種別の特記による
	11 誤変のための破壊部分の補修 (1.5.3)	補修方法　・　図示（図面番号：　　）・（　　）
	⑫ 建築材料等	1）　本工事に使用する建築材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とするほか「建築材料・設備機材等品質性性能評価事業建築材料等評価名簿」（最新版）（以下「評価名簿」という。）と同等とする。品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努めること。 2）　本工事で使用する建設資材の調達にあたっては、極力県内の取扱業者から購入するよう努めること。 3）　製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、三重県「環境物品等の調達方針」に従い、あらかじめ「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」に準拠した証明書を、監督員に提出すること。 4）　本工事に使用する木材は、品質が求められる水準以上であれば、「三重の木」利用推進協議会が認証する「三重の木」やあかね材認証機構が認証する「あかね材」の優先利用に努めること。 5）　本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。 6）　下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用する。ただし認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議を行うこと。 （認定製品の品名：　　） 7）　下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するように努める。 認定製品の品名：　・　間伐材製工事用バリケード　・　間伐材工事用看板　・　間伐材横示板　・　（　　）
	13 化学物質の濃度測定 (1.6.9)	測定対象化学物質（●で示したものとする。） 適用 ／ 施設用途 ／ ホルムアルデヒド ／ トルエン ／ キシレン ／ エチルベンゼン ／ スチレン ／ パラジクロロベンゼン 学校、教育施設 ／ ● ／ ● ／ ● ／ ● ／ ● ／ ● 住宅 ／ ● ／ ● ／ ● ／ ● ／ ● ／ その他 ／ ● ／ ● ／ ● ／ ● ／ ● ／ 測定対象室及び測定個所数　・　図示（図面番号：　　）　・（　　） 測定方法（　・　パッシブ法　・　アクティブ法） 測定時期　・　（　　） 報告書提出部数
	⑭ 特別な材料の工法	改修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。
	⑮ 騒音・振動の防止	低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。
	⑯ 工事写真 (1.2.4)	営繕工事写真撮影要領(国土交通省大臣官房官庁営繕部（最新版）)に従い撮影すること。 なお、デジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について（平成29年3月1日付け国営整第211号）」による。
	⑰ 完成図等 (1.8.2)	作成する　（(・) 完成図　・　保全に関する資料　・（　　）） 完成図作図範囲（配置図、平面図、断面図等） 完成図はＣＡＤにより作成することとし、著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）にかかる付け国営整第211号）」による。
	⑱ 完成写真	デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。（Ａ４版用紙に１ページあたり３枚）　１部 箇所数は外観４面各室２面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合には、監督員と協議すること。 ・　アルバム（大きさ335mm×290mm程度、カラー）　１部
	19 電子納品	工事写真は、「営繕工事に係る電子納品マニュアル（デジタル工事写真編）」等に基づき電子媒体も提出すること。 （提出部数　・　３部　・　部） 工事完成図書は、「営繕工事に係る電子納品マニュアル（工事完成図書編）」に基づき電子媒体も提出すること。 （提出部数　・　３部　・　部） 施工範囲
	⑳ 設備工事との取合い	(・) 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の補強 (・) 図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強 ・　自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 ・　駆動装置が電動による建具等の２次側の配管・配線及び　操作スイッチ 施工図 (・) 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。
	㉑ 既存部分等への処置 (1.3.13)	工事施工に際し、既存部分を汚損した場合又は損傷した場合は、監督職員に報告するとともに承諾を受けて現状に準じて補修する。
	㉒ 事故の発生時	工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故発生報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出すること。 また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。
	㉓ 市内企業優先使用	本工事において、下請契約を締結する場合は、当該契約の相手方（２次以下の請負人を含む）を市内に本店（建設業法において規定する主たる営業所を含む）を有する者の中から選定するように努めること。また、工事場所が所管する建設事務所管内又は隣接する建設事務所管内に本店（建設業法において規定する主たる営業所を含む）を有する者を優先して選定するよう努めること。なお、県外企業を下請契約の相手方に選定する場合は、下請契約締結前に書面により発注者に報告を行うこと。
	24 総合評価方式	本工事で提案不履行があった場合は、本工事完成年度の翌年度に総合評価方式で発注する案件（以下「発注工事」という。）で、貴社の評価点において発注工事の加算点（満点）の１割を減点します。 暴力団員等による不当介入（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第２条第１項第１４号）を受けた場合の措置について
	㉕ 不当介入を受けた場合の措置	1）　受注者は暴力団員等（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第２条第１項第１２号）による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。 2）　1)により三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は必ず文書で行うこと。 3）　受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。
	26 消防法関係の手続き	1）　消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成 ・本工事（　・　建築工事　・　電気設備工事　・　機械設備工事）　・　別途工事 2）　防火対象物使用開始届出書 書類の作成（電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入）を行うこと。
	㉗ 主任技術者又は監理技術者	1）　技術者要件 工事現場に配置する主任技術者又は監理技術者は、本工事の入札公告で定める技術者要件を満たす者としなければならない。 2）　専任を要しない期間 （1）　現場施工に着手するまでの期間 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督員との打合せにおいて定める。 （2）　検査終了後の期間 検査完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。
	㉘ 労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置	労働安全衛生法第30条第１項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第２項の規定に基づき、本工事の請負者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。
2 仮設工事	1 騒音・粉じん等の対策 (2.1.3)	・　防音パネル　設置範囲　・　図示（図面番号：　　） ・　防音シート　設置範囲　・　図示（図面番号：　　）
	② 足場 (2.2.1)	足場を設ける場合には、「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における２の（２）手すり据置き方式又は（３）手すり先行専用足場方式により行うこと。 外部足場　・　設置する（設置範囲　・　工事に必要な範囲　・　　）　・　設置しない 防護シート　・　設置する（設置範囲　・　工事に必要な範囲　・　　）　・　設置しない 内部足場　(・) 設置する（(・) 脚立　）　・　設置しない
	(表2.2.1)	材料、撤去材等の運搬方法 種別（・　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種　・　Ｄ種　・　Ｅ種　） Ｃ種：利用可能なエレベーター（　　） Ｄ種：利用可能な階段　（　　）
	3 既存部分の養生 (2.3.1)	既存部分の養生　・　図示（図面番号：　　） 既存ブラインド・カーテンの養生 養生方法（　取外し・復旧　）　保管場所　・　構内既存施設内　・（　　） 固定された備品、机、ロッカーの移動　・　行う　・　行わない
	4 仮設間仕切り (2.3.2) (表2.3.1)	屋内の仮設間仕切り　・　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種 合板　厚さ　・　9mm　・（　　） せっこうボード　厚さ　・9.5mm　・（　　） 合板又はせっこうボードの塗装　・　行う　・　行わない 仮設扉　設置箇所　・　図示（図面番号：　　） 仕様　・　合板張り木製扉　・　（　　）
	5 監督員事務所 (2.4.1)	・　構内建物内の一部を使用する。 ・　設置する 監督員事務所の規模（単位：m²） 適用 ／ ／ ／ ／ ／ ／ 規模 ／ 10程度 ／ 20程度 ／ 35程度 ／ 65程度 ／ 100程度 監督員事務所の仕上げ 部　位　等 ／ 仕　上　げ 床 ／ 合板張り又はビニール床シート張り 内壁・天井 ／ 合板張り又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り 屋根 ／ 裝溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り
	6 監督員事務所の設備、備品等 (2.4.1)(7)	種類 ／ 机・いす ／ 書棚 ／ 黒板・白板 ／ 掛時計 ／ 温度計 数量 ／ 組 ／ 台 ／ 個 ／ 個 ／ 個 ／ 個 種類 ／ 長靴 ／ 雨合羽 ／ 保護帽 ／ 懐中電灯 ／ 衣類ロッカー 数量 ／ 足 ／ 着 ／ 個 ／ 個 ／ 台 種類 ／ 消火器 ／ 掃除具 ／ 受注者加入電話 FAX ／ 冷暖房機器 ／ インターネット 数量 ／ 個 ／ 個 ／ 台 ／ 台 ／ 台
	⑦ 仮設便所	構内既存の施設 ・　利用できる　(・) 利用できない
	⑧ 工事用水	構内既存の施設 (・) 利用できる（(・) 有償　・　無償）　・　利用できない
	⑨ 工事用電力	構内既存の施設 (・) 利用できる（(・) 有償　・　無償）　・　利用できない 本工事で新規受電または既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は、本工事に含まれる。
	⑩ 交通誘導警備員	配置　(・) 図示（図面番号：A-03）
3 内装改修工事	1 一般事項 (6.1.3)(2)	既存間仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲 改修部分 ／ 改　修　範　囲 ・　天井 ／ ・　図示 ・　壁 ／ ・　図示 ・　床 ／ ・　図示
	(6.1.3)(3)	天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲 ・　図示
	(6.1.3)(5)	天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修 ・　図示
	2 既存床撤去、下地補修 (6.2.2)(1)(ｱ)	既存床仕上げ材の除去等 浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去 ・　行う　・　行わない
	(6.2.2)(1)(ｲ)	合成樹脂塗り床材の除去等 ・　機械的除去工法　・　目荒し工法
	(6.2.2)(3)	改修後の床の清掃範囲 ・　施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲 ・（　　）
	3 既存壁撤去、下地補修 (6.3.2)	既存間仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法 ・（　　）
	4 木下地等 (6.5.1)(3) (表6.5.1) (6.5.2)(1)(ｲ) (表6.5.3)	表面仕上げ 機械加工　・　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種 手加工　・　Ｈ－Ａ種　・　Ｈ－Ｂ種　・　Ｈ－Ｃ種 木材の含水率（工事現場搬入時、質量比） 部材名称 ／ 種　別 下地材 ／ ・　Ａ種　・　Ｂ種 造作材 ／ ・　Ａ種　・　Ｂ種
	(6.5.2)(2)(ｱ)	製材 「製材の日本農林規格」による製材 部位 ／ 樹種・寸法・形状 ／ 等級 ／ 含水率 ／ 保存処理 ／ 材面の品質 下地用針葉樹製材 ／ ・　図示（図面番号：　　） ／ ・（　　） ／ ・（　　） ／ ・（　　） ／ ・（　　） 造作用針葉樹製材 ／ ・　図示（図面番号：　　） ／ ・（　　） ／ ・（　　） ／ ・（　　） ／ ・（　　） 広葉樹製材 ／ ・　図示（図面番号：　　） ／ ・（　　） ／ ・（　　） ／ ・（　　） ／ ・（　　）
	(6.5.2)(2)(ｲ) (6.5.2)(2)(ｳ) (表6.5.4)	「製材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、含水率　・　図示（図面番号：　　） 造作材の材面の品質　・　Ａ種　・（　　） 樹種 部　位 ／ 樹　種 ／ 県　産　材
	(6.5.2)(3)(ｱ)	造作用集成材 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 部　位 ／ 品名・樹種 ／ 見付け材面の寸法・品質・数 ／ 厚さ 造作用集成材 ／ ・　図示（図面番号：　　） ／ ・　図示（図面番号：　　） ／ 化粧ばり造作用集成材 ／ ・　図示（図面番号：　　） ／ ・　図示（図面番号：　　） ／ ・（　　） 化粧ばり構造用造作用集成柱 ／ ・　図示（図面番号：　　） ／ ／ ・（　　） ※三重県産材を使用すること。
	(6.5.2)(3)(ｲ)	「集成材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、見付け材面の品質　・　図示 含水率　・　１５%以下　・（　　）
	(6.5.2)(4)(ｱ)	造作用単板積層材 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 部位 ／ 品名・寸法 ／ 表面の品質 ／ 防虫処理 造作用単板積層材 ／ ・　図示（図面番号：　　） ／ ・（　　） ／ ・（　　）
	(6.5.2)(4)(ｲ)	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 寸法、表面の品質、防虫処理　・　図示（図面番号：　　） 含水率　・　１４%以下　・（　　）
	(6.5.2)(5)	「直交集成板の日本農林規格」による直交集成板 品名、曲げ強度、種別、接着性能、樹種及び寸法　・　図示（図面番号：　　）
	(6.5.2)(6)	・　合板等 品名（品目） ／ 樹種名 ／ 接着の程度 ／ 等級 ／ 板面の品質 ／ 防虫処理等 ／ 厚さ
	(6.5.3)(1)	接合具等 造作材化粧面の釘打ち　・　隠し釘打ち　・（　　）
	(6.5.3)(2)	雑金物 形状、寸法及び材質　・　図示（図面番号：　　）
	(6.5.5)(1)	・　防腐、防蟻処理 適用部位　図示（図面番号：　　） 保存処理性能区分（　　） 薬剤の塗布等の処理方法（　　） 附属書Ａに基づく表面処理用木材保存剤　・　適用する（　・薬剤の種類（　　）　・　適用部材（　　）） ボード原料接着剤への防腐・防蟻処理（　　）
	(6.5.5)(2)	・　防虫処理 ・　図示（図面番号：　　）

特　記	

工事名	美旗市民センターロビーほか空調設備改修工事		
図名	改修工事特記仕様書１	縮尺	―
図面番号	Ａ－０１		

HAKUHO Architech
白鳳アーキテック　株式会社
１級建築士事務所　登録（三重１－１９８７号）
〒518－0775　三重県名張市希央台5番町109番地
ＴＥＬ　0595-48-6066　ＦＡＸ　0595-48-6067
E-mail　h.a.t@tuba.ocn.ne.jp

承　認				管理建築士	印
	田中	西尾	安井	１級　２５６６３０号 萱室　敦司	萱室
図面提出日	２０２４／０７／３１				

⑤ 軽量鉄骨天井下地
(6.6.2)
(表6.6.1)

野縁等の種類
⊙ 屋内 ⊙ 19形 ・（ ）
・ 屋外 ・ 25形 ・（ ）

(6.6.3)
形式及び寸法
・ 屋外 ・ 図示（図面番号： ）
・ 耐震天井 ・ 図示（図面番号： ）
・ ふところ≧1.5m ・ 改修標準仕様書(6.6.4)(8) ・ 図示（図面番号： ）

(6.6.4)
既存埋込みインサート
⊙ 使用する ・ 使用しない （※使用する場合は、確認試験を行う）
既存埋込みインサート、あと施工アンカーの確認試験
・ 行う（ 図示（図面番号： ）） ⊙ 行わない
・ 確認試験の箇所数（ 箇所） ・ 確認強度（ ）
耐震性・耐風圧性を考慮した補強
・ 図示（図面番号： ）

6 軽量鉄骨壁下地
(6.7.3)
スタッド、ランナーなどの種類は、(表6.7.1)による。

7 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り
(6.8.2)
(6.8.2)(1)

材料
・ ビニル床シート【JIS A 5705（ビニル系床材）】

種類の記号	色柄	厚さ	備考

(6.8.2)(3)(ｵ)(ｶ)
・ 防滑性床シート又は床タイル

種類	寸法	厚さ	備考

(6.8.3)(1)
工法
下地 ・ モルタル塗り ・ セルフレベリング材塗り ・ 木下地 ・ その他（ ｺﾝｸﾘｰﾄ ）

(6.8.3)(2)(ｳ)
ビニル床シート張り
熱溶接工法 ・ 適用する ・ 適用しない

8 カーペット敷き
(6.9.3)(1)
(表6.9.1)
・ 織じゅうたん

種別	糸の種類	パイルの形状	帯電性	品質の程度	色柄
・ A種 ・ B種 ・ C種	・ そ毛 ・ 紡糸 ・（ ）	・ カットパイル ・ ループパイル ・ カット、ループ併用	・ 人体帯電圧 3KV以下 ・（ ）	・（ ）	・ 無地 ・ 柄物

品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。（以下同様）

(6.9.2)(2)
(表6.9.2)
・ タフテッドカーペット

パイルの形状	パイル長(mm)	帯電性	工法	品質の程度
・ カットパイル ・ ループパイル ・ カット、ループ併用		・ 人体帯電圧 3KV以下 ・（ ）	・ 全面接着工法 ・ グリッパー工法	・（ ）

(6.9.2)(3)
・ ニードルパンチカーペット

厚さ(mm)	帯電性	備考
	・ 人体帯電圧 3KV以下 ・（ ）	

(6.9.2)(4)
(表6.9.2)
・ タイルカーペット

種類	パイルの形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度
	・ カットパイル ・ ループパイル	・500×500 ・（ ）	・6.5 ・（ ）	・（ ）

(6.9.2)(5) 下敷き材 ・ 第２種第２号、厚さ８mm ・（ ）
(6.9.2)(6) 見切り、押え金物 ・ 適用する（材質、種類及び形状 ・ 図示（図面番号： ））

(6.9.3)(3)
織じゅうたんの接合方法
・ ヒートボンド工法 ・（ ）

(6.9.3)(5)
タイルカーペットの敷き方

平場	・ 市松敷き ・ 模様流し ・（ ）
階段部分	・ 市松敷き ・ 模様流し ・（ ）

9 合成樹脂塗床
(6.10.3)(2)(a)
(表6.10.4)
弾性ウレタン樹脂系塗床の仕上げ種類、工程
・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ

(6.10.3)(2)(b)
(6.10.3)(3)
(表6.10.5)～
(表6.10.8)
エポキシ樹脂系塗床の仕上げ種類
・ 薄膜流しのべ仕上げ（・ 平滑 ・ 防滑） ・ 厚膜流しのべ仕上げ（・ 平滑 ・ 防滑）
・ 樹脂モルタル仕上げ（・ 平滑 ・ 防滑） ・ 薄膜型塗床仕上げ（・ 平滑）

10 フローリング張り
(6.11.4)
(表6.11.2)
・ 釘留め工法

材料	種別	樹種
・ フローリングボード（根太張用）		・ なら ・（ ）
・ 複合フローリング（根太張用）	・ A種 ・ B種 ・ C種	

防湿処理 ・ 図示（図面番号： ）

(6.11.5)
(表6.11.5)
(表6.11.6)
・ 接着工法

材種	樹種	厚さ	大きさ
・ フローリングボード（直張用）	・ なら ・（ ）		
・ フローリングブロック（直張用）			
・ 複合フローリング（直張用） ・A種 ・ B種 ・ C種			

緩衝材 ・ 合成樹脂発泡シート ・ 図示（図面番号： ）

(6.11.6)(3)
塗装
・ ウレタン樹脂ワニス塗り（１液形、B種）
・ オイルステイン塗りのうえワックス塗り
・ 生地のままワックス塗り
・（ ）

11 畳敷き
(6.12.2)
(表6.12.1)
種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種
・ D種の畳床 KT－（ ・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ ・K ・N ）

⑫ せっこうボード、その他ボード及び合板張り
(6.13.2)
(表6.13.1)

材種	種別	厚さ(mm)	
⊙ せっこうボード		壁	・ 12.5(不燃) ・ 15(不燃) ・ 21(不燃)
		天井	・ 9.5(準不燃) ⊙ 12.5(不燃)
・ 化粧せっこうボード	・ トラバーチン模様	・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃)	
	・ 木目模様	・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃)	
⊙ ロックウール化粧吸音板	⊙ 普通	・ 9(不燃) ⊙ 12(不燃)	
	・ 立体模様	・ 9( ) ・（ ）	
・ けい酸カルシウム板	・ タイプⅡ0.8FK	・ 6	
・ シージングせっこうボード		・ 12.5(不燃)	

(6.13.2)(8)
遮音シール材
・ シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド

(6.13.3)(5)(ｳ)
合板類の張付け
・ A種 ・ B種

(6.13.3)(7)(ｱ)
(表6.13.5)
せっこうボードの目地工法
・ 継目処理 ・ 突付け ・ 目透し

13 壁紙張り
(6.14.2)

施工箇所	種類	防火性能
図示		・ 不燃 ・ 準不燃

14 モルタル塗り
(6.15.3)
(6.15.5)
(6.15.6)
モルタル ・ 現場調合材料 ・ 既調合材料
既製目地材 ・ 使用する（形状： ）
床の目地 ・ 図示（図面番号： ）
下地処理 ・ 壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mm超 図示（図面番号： ）

15 タイル張り
(6.16.2)
(6.16.3)
伸縮調整目地
位置 ・ 図示（図面番号： ）

タイルの種類

施工箇所	形状	寸法	耐滑り性	標準・特注色の別	耐凍害性の有無

(6.16.3)(2)
試験張り ・ 行う ・ 行わない
見本焼き ・ 行う ・ 行わない
既調合モルタル ・ 使用できる ・ 使用できない

16 セルフレベリング材塗り
(6.17.2)
(6.17.3)
・ せっこう系 ・ セメント系
塗厚（ ）mm

17 断熱材
(9.5.2)
断熱材打込み工法

種類	種別	厚さ（mm）	施工箇所
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム			
・ 押出法ポリスチレンフォーム			
・ A種硬質ウレタンフォーム			
・ フェノールフォーム			

(9.5.3)
断熱材現場発泡工法（吹付硬質ウレタンフォーム）

種類	厚さ[mm]	施工箇所
・ A種１ ・ A種１H	・（ ）	・ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフドレン回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所

4 その他工事

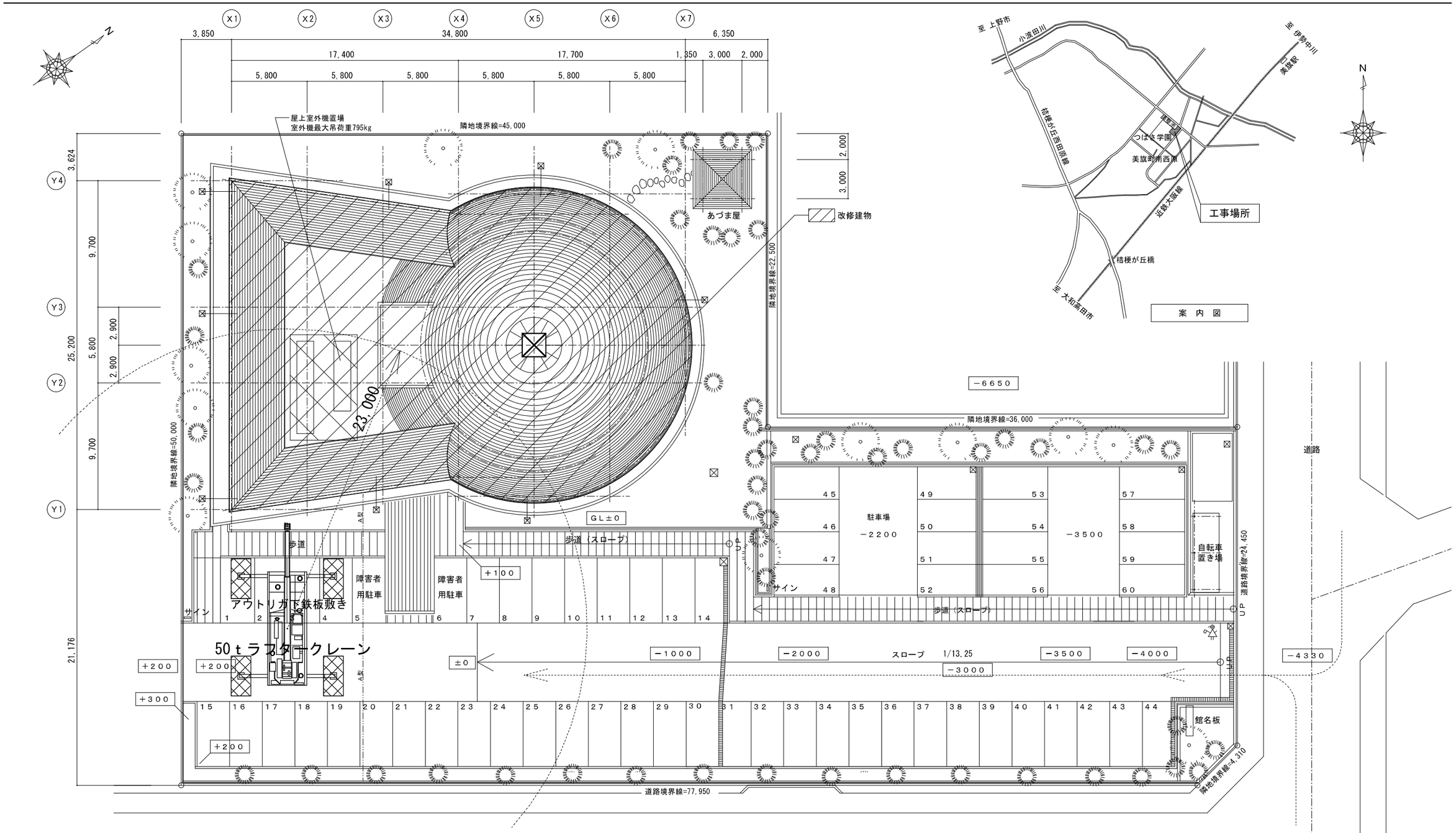
特 記

工事名 美旗市民センターロビーほか空調設備改修工事

図名 改修工事特記仕様書２ 縮尺 ー 図面番号 A－０２

HAKUHO Architech 白鳳アーキテック 株式会社
１級建築士事務所 登録（三重１－１９８７号）
〒518－0775 三重県名張市希央台5番町109番地
ＴＥＬ 0595-48-6066 ＦＡＸ 0595-48-6067
E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp

承認 田中 西尾 安井
図面提出日 ２０２４／０７／３１
管理建築士 1級 ２５６６３０号 萱室 敦司
印 萱室



凡例

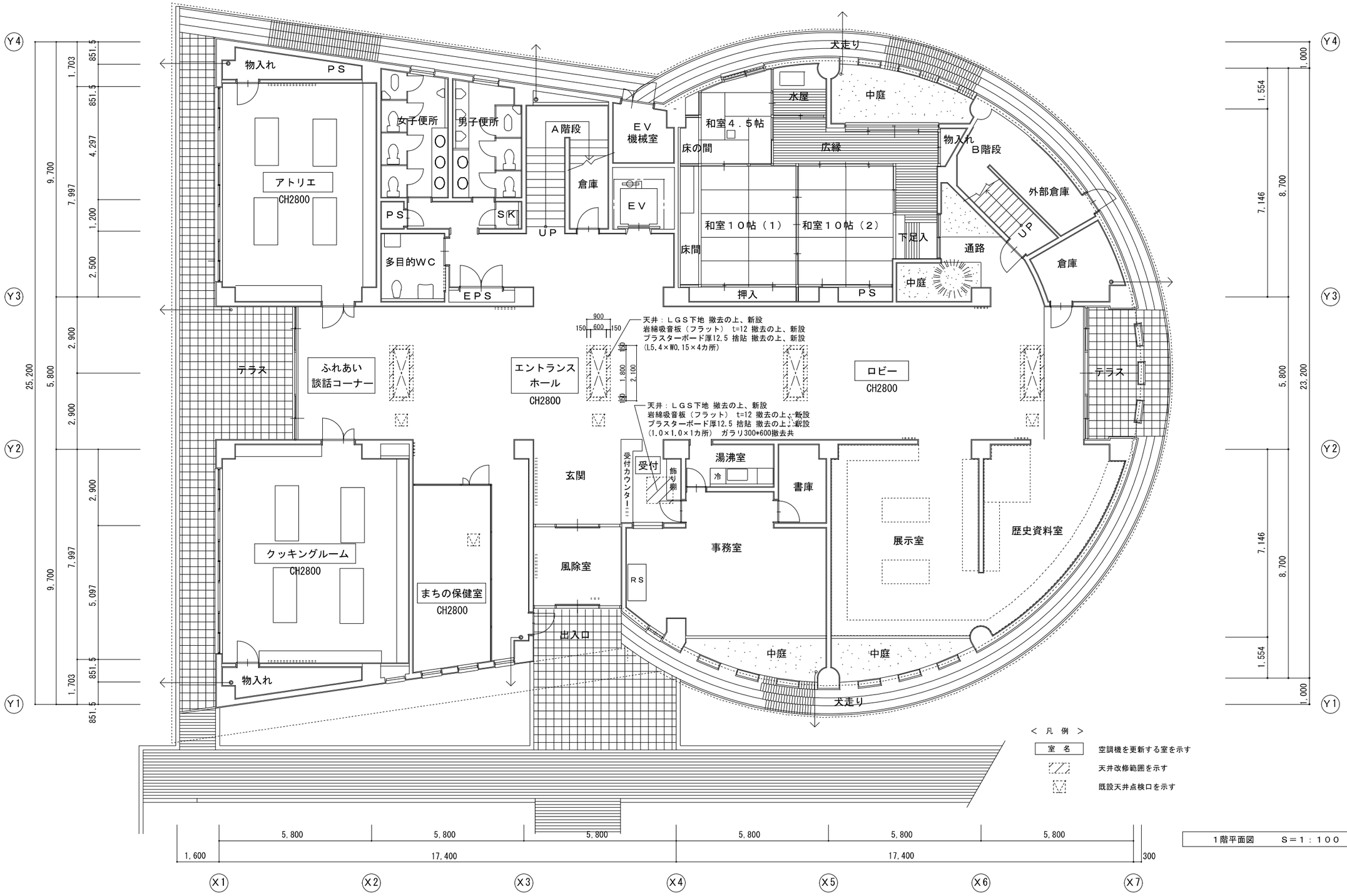
- 資材搬入・搬出ルート
- 敷き鉄板22mm範囲を示す（3048×1524 ４枚）
- 交通誘導員Ｂ位置を示す。（延べ４人工程度）
  ※資材搬出入時には交通誘導員を配置すること。
- Ａ型バリケード （錘付き）（22m）
- ラフタークレーン ５０ｔ ２日

留意事項

※１）工事車両は敷地内では最徐行で通行すること。
※２）工事期間中、常時施設が利用できるように配慮し、利用者の動線を確保すること。
※３）工事期間中、施設利用者が安全に利用できるよう配慮し、利用者が多い時間帯は搬入・搬出を控えること。
※４）工程計画及び仮設計画、作業員の駐車スペースについては、施設側と十分に調整を行った上で進めること。
※５）必要に応じて適切な路面等の養生を行うこと。
※６）工事関係者以外が工事エリアに侵入できないように配慮する事。
※７）本仮設参考図に記載された仮設備等は発注側の積算上の考え方を示したものであって、
施工条件として指定したものではないので、施工者の責任のもとに十分検討の上施工するものとする。
※８）搬入出時、適宜クレーンを利用すること。
※９）大型車両通行時には、交通誘導警備員を配置し施設出入口から工事区域出入口まで誘導すること。

特 記		工事名	美旗市民センターロビーほか空調設備改修工事		承 認	管理建築士	印
		図名	配置図	縮尺 A２：１／２００ A３：１／２８２	図面番号 A－０３	田中 西尾 安井	１級 ２５６６３０号 萱室 敦司
					図面提出日 ２０２４／０７／３１		萱室

HAKUHO Architech
白鳳アーキテック 株式会社
１級建築士事務所 登録（三重１－１９８７号）
〒518－0775 三重県名張市希央台5番町109番地
ＴＥＬ 0595-48-6066 ＦＡＸ 0595-48-6067
E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp



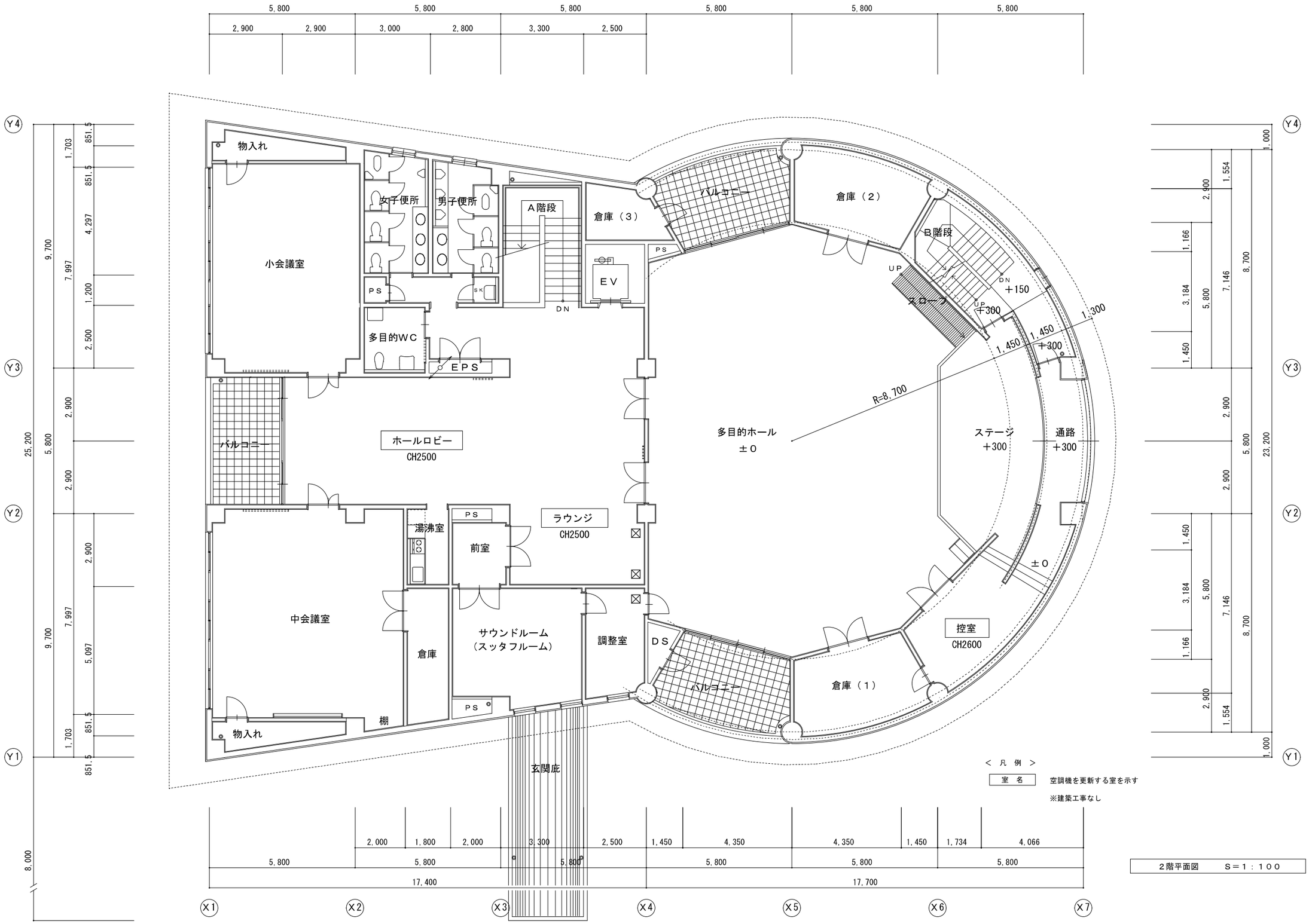
１階平面図　　Ｓ＝１：１００

特 記		工事名	美旗市民センターロビーほか空調設備改修工事		
		図名	１階平面図	縮尺 Ａ２：１／１００ Ａ３：１／１４１	図面番号 Ａ－０４

HAKUHO Architech 白鳳アーキテック 株式会社

１級建築士事務所　登録（三重１－１９８７号）
〒518－0775　三重県名張市希央台5番町109番地
ＴＥＬ　0595-48-6066　ＦＡＸ　0595-48-6067
E-mail　h.a.t@tuba.ocn.ne.jp

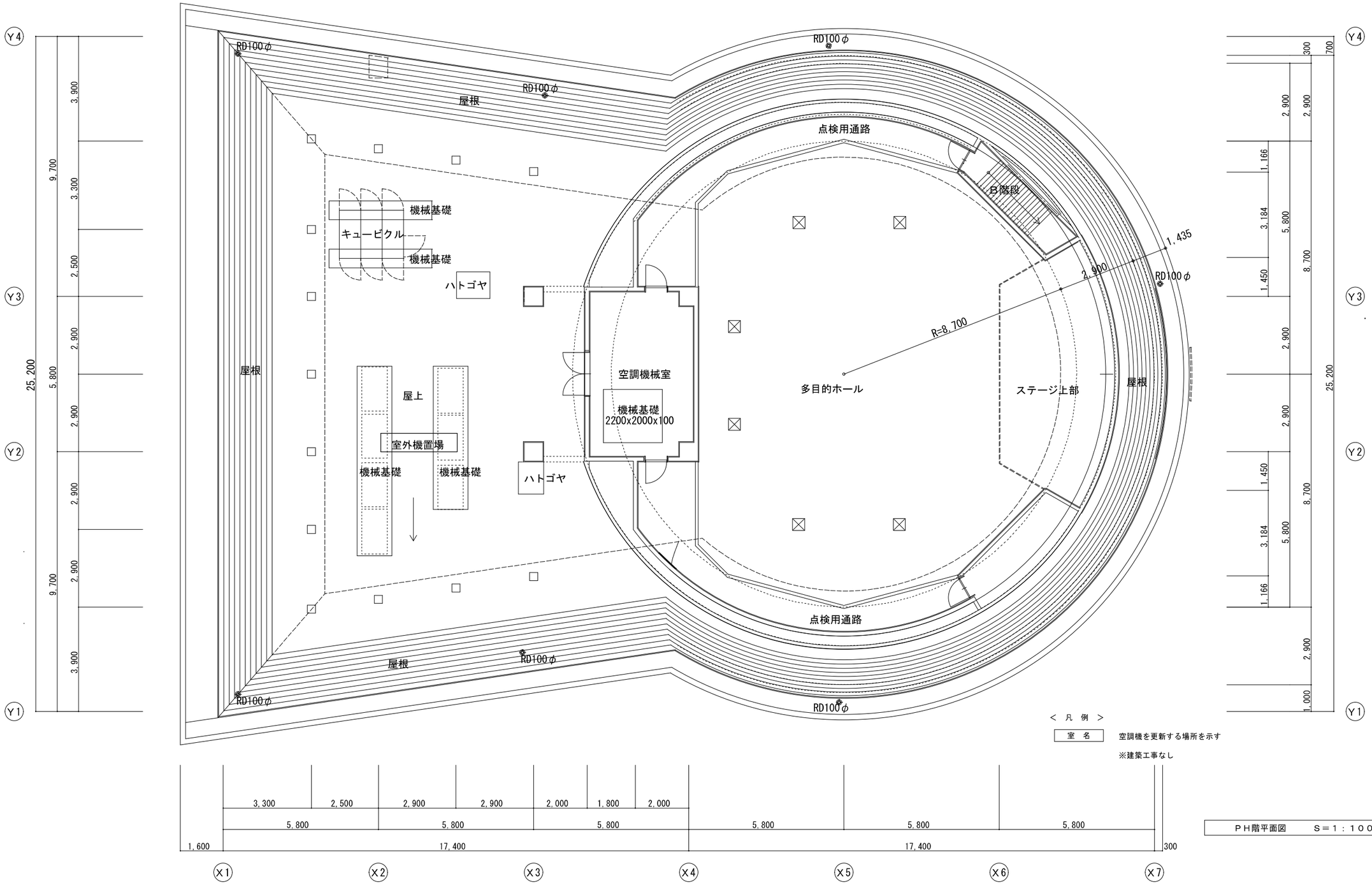
承 認				管理建築士	印
	田中	西尾	安井	１級 ２５６６３０号 萱室 敦司	萱室
図面提出日	２０２４／０７／３１				



２階平面図　　Ｓ＝１：１００

特記	工事名	美旗市民センターロビーほか空調設備改修工事			承認	管理建築士	印
	図名	２階平面図	縮尺 A２：１／１００ A３：１／１４１	図面番号 A－０５	田中 西尾 安井	１級 ２５６６３０号 萱室 敦司	萱室
					図面提出日 ２０２４／０７／３１		

HAKUHO Architech
白鳳アーキテック 株式会社
１級建築士事務所　登録（三重１－１９８７号）
〒518－0775　三重県名張市希央台5番町109番地
ＴＥＬ　0595-48-6066　ＦＡＸ　0595-48-6067
E-mail　h.a.t@tuba.ocn.ne.jp

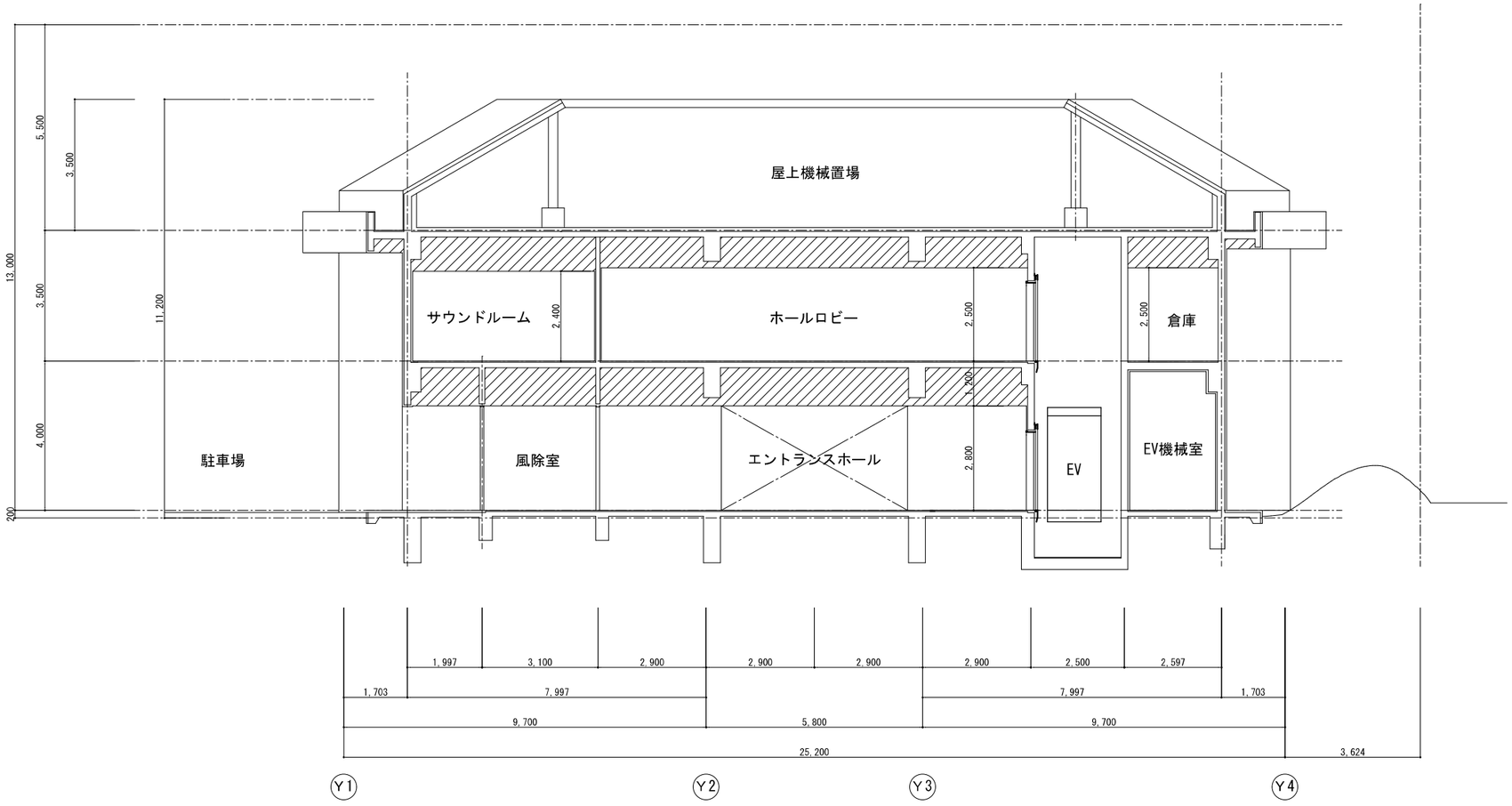


ＰＨ階平面図　　Ｓ＝１：１００

特 記	工事名	美旗市民センターロビーほか空調設備改修工事			
	図名	ＰＨ階平面図	縮尺 Ａ２：１／１００ Ａ３：１／１４１	図面番号	Ａ－０６

HAKUHO Architech
白鳳アーキテック　株式会社
１級建築士事務所　登録（三重１－１９８７号）
〒518－0775　三重県名張市希央台5番町109番地
ＴＥＬ　0595-48-6066　ＦＡＸ　0595-48-6067
E-mail　h.a.t@tuba.ocn.ne.jp

承 認				管理建築士	印
	田中	西尾	安井	１級　２５６６３０号 萱室　敦司	萱室
図面提出日	２０２４／０７／３１				



断面図　　S＝1：100

特　記		工事名	美旗市民センターロビーほか空調設備改修工事		HAKUHO Architech 白鳳アーキテック　株式会社	1級建築士事務所　登録（三重1－1987号） 〒518－0775　三重県名張市希央台5番町109番地 TEL　0595-48-6066　FAX　0595-48-6067 E-mail　h.a.t@tuba.ocn.ne.jp	承　認	管理建築士	印
		図名	断面図	縮尺 A2：1／100 A3：1／141	図面番号 A－07		田中　西尾　安井 図面提出日　2024／07／31	1級　256630号 萱室　敦司	萱室

電気設備工事特記仕様書

Ⅰ．工事概要

三重県名張市　美旗町南西原２２９番地の３

２．建物概要

建物名称	構造	階数	床面積（㎡）	消防別表第一	備考
市民センター	RC造	2		1項ロ	

３．工事種別（○印のあるものを適用する）

建物別及び屋外 ＼ 工事種目	工事種別				
	電気				屋外
受変電設備					
発電設備					
電灯設備	○				
動力設備	○				
雷保護設備					
電力貯蔵設備					
構内配電線路					
電話設備					
インターホン設備					
拡声設備					
電気時計設備					
テレビ共同受信設備					
トイレ呼出設備					
火災報知設備					
構内通信線路					
映像・音響設備					
監視カメラ設備					
構内ＬＡＮ設備					
その他					

Ⅱ．工事仕様

１．共通仕様

１）図面及び特記仕様書に記載されていない事項は，国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（最新版）」（以下，「標準仕様書」という），「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備編）（最新版）」（以下，「改修標準仕様書」という），「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（最新版）」（以下「標準図」という）による。

２）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合，機械設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書，標準図を適用する。

２．特記仕様

１）項目は番号に○印の付いたものを適用する。ただし，共通事項は全て適用する。

２）記事欄は＊印のものを適用する。

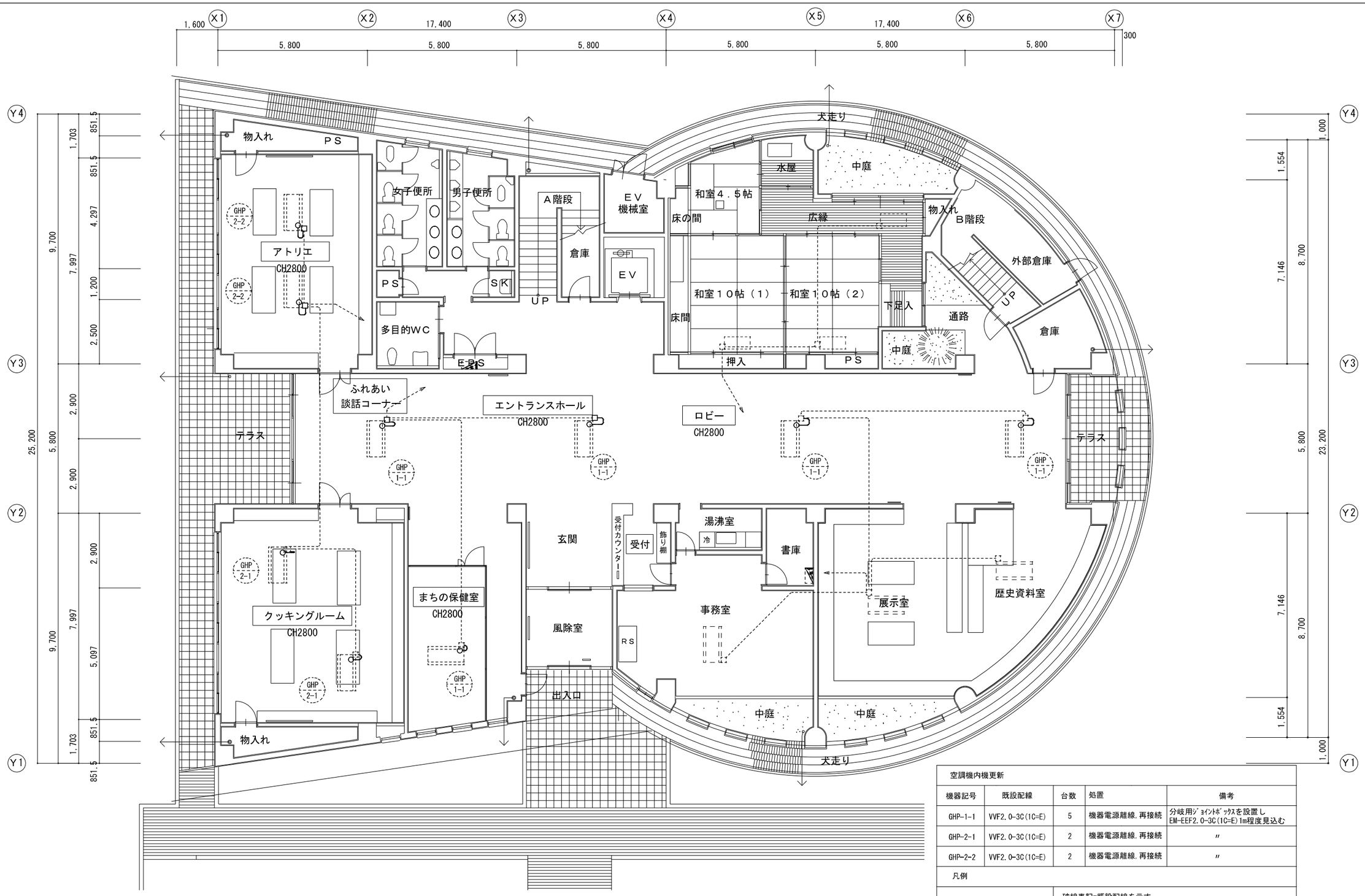
３）ただし＊印の記事で■印がある場合は■印を適用する。

分類	項目	記事
共通事項	1 工事用仮設	＊ 工事区分表による。 ＊ 別契約の関係受注者が定置した足場，桟橋類は利用できる。
	2 工事用水	構内既存の施設　・利用できない（改廃を含み全て受注者の負担とする） ＊ 利用できる　（ ＊ 有償　・ 無償 ） ＊ 工事用水については，敷地内メーター以降にサブメーターを取付け，毎月使用量を監督職員に報告すること。 注）引渡しまでの費用負担も本工事に含まれる。（無償の場合は除く）
	3 工事用電力	構内既存の施設　・利用できない（改廃を含み全て受注者の負担とする） ＊ 利用できる　（ ＊ 有償　・ 無償 ） 注）本受電後，引渡しまでの電気主任技術者の設定及びこれに伴う費用負担も本工事に含まれる。（無償の場合は除く）
	4 電気工事士	受電区分　・ 高圧受電　＊ 低圧受電 ＊ 電気工事士法の区分により施工するものとし，契約電力が500kw以上の電気工作物においても第一種電気工事士により施工するものとする。
	5 電気保安技術者	工事現場におく電気保安技術者は，電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し，電気工作物の保安業務を行うものとする。
	6 電気主任技術者 工事期間中の選任	受電予定日　令和　年　月頃 ・ 要　・ 不要
	⑦官公庁その他 手続き	＊ 工事の着工，施工，完成に必要な手続きは全て受注者の責任とし，その費用は受注者の負担とする。
	8 電力等の引込	・ 電力及び電話引込線等の位置及び引止方法については，関連会社と打合せの上，監督職員との協議により決定する。
	9 発生材の処理等	＊ 電気設備特記仕様書「Ｅ０１ 発生材の処理等」による。 ・ 建築工事特記仕様書「建設廃棄物」による。 ・ PCB使用機器は関係法令により適切に処理し，建物管理者に引渡す。
	⑩既設との取り合い	・ 本工事施工に伴う既設設備の軽微な加工改造は本工事に含む。
	11 埋戻し土並び 発生土処理	・ 根切土の中の良質土　・ 山砂類　・ 再生切込砕石（RC-40） ・ 場内指示場所に敷均し　・ 場内指示場所に堆積　・ 場外搬出適正処理
	12 地中埋設	・ 管の上下５０mmは山砂の類で埋め戻し，３００mm毎に転圧すること。 ・ 地中配管・配線には標識シート等（２倍）を設ける。
	13 構内配電線路 架空電線	・ 道路(車両の往来があるものと及び歩行の用にのみ供される部分を除く）を横断する場合は路面上6m以上，屋外用照明であって，絶縁電線又はｹｰﾌﾞﾙを使用した対地電圧150V以下のものを交通に支障のないように施設する場合は地表上4m以上， 低圧架空電線を道路以外の場所に施設する場合は地表上4m以上，その他の場合は5m以上とし，これによりがたい場合は監督職員との協議により決定する。
	14 構内通信線路 架空電線	・ 道路を横断する場合は路面上5m以上とする。ただし，交通に支障を及ぼすおそれが少ない場合で工事上やむを得ないときは，歩道と車道との区分がある道路の歩道上においては路面上2.5m以上，その他の道路上においては4.5m以上とする。 上記，道路以外の部分については路面上3.5m以上とし これによりがたい場合は監督職員との協議により決定する。
	15 再使用機器	＊ なし　・ 清掃後、絶縁抵抗を測定する。
	16 完成図書等	工事完成後速やかに提出すること。提出書類はＡ版とする。 ＊ 完成図書　２部　（ファイル綴じ） １．機器取扱い説明書 ２．主要機器図、製作図 ３．機器性能試験成績書 ４．官公署届出書類写し ５．監督職員の指示ある書類 ＊ 竣工図（設計図データの修正図） １．製本（＊原設計サイズ（３部）　＊Ａ３縮小版（４部）） ２．原図（＊原設計サイズ　・Ａ３縮小版）のトレーシングペーパーを１部 ３．ＣＡＤデータ（.ｄｗｇ形式，.ｄｘｆ形式　又は，.ｊｗｗ形式　）のＣＤを１部 ＊ 施工図 １．製本（＊原設計サイズ（２部）　・Ａ３縮小版） ２．ＣＡＤデータ（.ｄｗｇ形式，.ｄｘｆ形式　又は，.ｊｗｗ形式　）のＣＤを１部 竣工図は，設計図ＣＡＤデータを訂正し作成すること。また，あらかじめ監理者の確認を受け，データはウィルスチェックを行い提出する。 (データ形式を交換する場合は交換・共有に支障ないことを確認し，交換前のデータも併せて提出する。) ただし，施工図データの提出については監督職員の指示による。 また，これらの著作権にかかる使用権は発注者に委譲するものとする。
	17 機材等	・ 受変電設備盤の鍵は（ ・ 200番　・ タキゲンA-310-1 or 3）とする。 ・ 受変電設備を除く盤の鍵は（ ・ 200番　・ タキゲンA-310-1 or 3）とする。 ・ 屋外及び高温多湿箇所の電気盤はＳＵＳ製とする。 ・ 電気盤，機器及び配管等の塗装は（・ 有　箇所は図示による　・ 無し） ・ 電気盤，機器及び配管等の塗装色は，監督職員の指示による。 ・ 屋内施工で使用する塗料はF☆☆☆☆とする。 ・ 配線器具の位置ボックスは大角型とし，スイッチは（・ ネーム無　・ ネーム付）とする。 ・ 配線器具のプレートは，図示なき場合一般は新金属製，和室は樹脂製とする。 ・ フロアボックスのプレートは（・ アルミダイカスト製　・ 銅合金製）とする。 ・ 配管の使用区分は図示なき場合次による。 屋内幹線（隠蔽、打込み）　･･･ＥＰ 屋内幹線（露出）　･･･ＣＰ 屋外（地中）　･･･ＦＥＰ 屋外（露出）　･･･Ｇ、ＨＩＶＥ 屋外（立上り）　･･･ＰＥＧ、ＨＩＶＥ Ｈ･Ｈ～盤　･･･ＦＥＰ、ＨＩＶＥ 屋内分岐（隠蔽、打込み）　･･･ＰＦ 屋内分岐（露出）　･･･ＣＰ、メタルモール 屋内分岐（多湿）　･･･ＨＩＶＥ ・ 屋内多湿箇所の支持材はＳＵＳ製とする。 ・ 屋外支持材はＳＵＳ製とする。 ・ 露出配管をサドル止めする場合は両サドルとする。 ・ マンホール，ハンドホール，プルボックス，盤内及びその他要所のケーブルには，合成樹脂製またはファイバ製の表示札，表示シート等を取り付け，回路の種別，行先等を表示する。 ・ 機器を実装しないボックス等には用途表示を行う。 ・ スリーブ施工において外壁の地中部分等水密を要する部分については，スリーブ用止水リングを使用した塩ビ管で施工してもよい。 ・ 建物の仕上げ及び性能に係わる部分の施工については，専門業者で行うものとする。
	18 あと施工ｱﾝｶｰ	・ あと施工アンカー・連続繊維補強設計・施工指針による。 アンカーの試験方法 ＊ 目視検査　・ 接触検査　・ 打音検査 ・ 非破壊試験　・ 破壊試験 アンカーの試験本数 ・ ※※本　・ 全体の0.5%　＊ 各径につき1ロット3本以上
	19 金属製電線管 の塗装・仕上げ	金属製電線管の塗装は下記による。 ・屋内　・屋外　・図示　・なし
	20 スリーブ	スリーブの径は，原則として，管の外径(保温厚含む)より４０mm程度大きなものとする。 下記の場合以外は，亜鉛鉄板，つば付鋼管，又は鋼管(SGP-白)とする。 ・ 外壁の地中部分等，水密を要する部分　つば付鋼管，防水鋳鉄管 又はゴム系止水材 ・ 地中部分で，水密を要しない部分　ビニル管（ＶＵ） ・ 柱及び梁以外で，開口補強が不要，かつφ200以下の部分　紙製仮枠可能 ・ 既存の有筋コンクリート床，壁等にダイヤモンドカッターを用いて穴あけを行う場合は事前に走査式埋設物調査を行い監督職員に報告すること。
	21 支持間隔	・ 配管の支持間隔は，次による。 種類 ／ 支持間隔 ／ 備考 金属管 ／ 2.0m以下 ／ ―― 合成樹脂管 ／ 1.0m以下 ／ 接続点のそれぞれの近くの箇所(0.3m程度）に設けること。 可とう電線管 ／ 1.0m以下 ／ 同上 ｹｰﾌﾞﾙﾗｯｸ（鋼製） ／ 2.0m以下 ／ 直線部以外の接続については接続点及びﾗｯｸ端部の近くの箇所(0.3m程度）に設けること。 ｹｰﾌﾞﾙﾗｯｸ（その他） ／ 1.5m以下 ／ 同上 金属線び（1種） ／ 1.0m以下 ／ 線び接続部の両側，付属品の接続部及び線び端部に近い箇所(0.3m程度）に設けること。 金属線び（2種） ／ 1.5m以下 ／ 同上 ・ 土中配管は土間スラブに支持する。
	22 耐震施工	・設備機器の固定は国土交通省国土技術政策総合研究所及び独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針」2014年版による。 施設の分類　・特定の施設　・一般の施設 耐震クラスの適用 耐震クラス ／ 適用する設備：特定の施設 ／ 適用する設備：一般の施設 S ／ 受変電設備，無停電装置，直流電源装置，発電設備 ／ ― A ／ その他一般設備 ／ 受変電設備，無停電装置，直流電源装置，発電設備 B ／ ― ／ その他一般設備
	㉓機材の品質	本工事に使用する材料・機材等は設計図書に定める品質及び性能の他，通常有するべき品質を確認できる機材の試験結果報告書を提出すること。 なお，ＪＩＳ等規格品においては省略することができる。
	㉔環境への配慮	＊ 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（ｸﾞﾘｰﾝ購入法）に規定される特定関連品目に該当する機材を使用する場合は，その判断の基準，配慮事項を満たすものとする。 ＊ 化学物質を放散する建築材料等 本工事の建物内部に使用する建築材料等は，設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし，次の1)から5)を満たすものとする。 1) 合板，木質系ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ，構造用ﾊﾟﾈﾙ，集成材，単板積層材，MDF，ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ，その他の木質建材，ｴﾘｱ樹脂，仕上げ塗材は，ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散しないか，放散が極めて少ないものとする。 2) 保温材，緩衝材，断熱材はﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ及びｽﾁﾚﾝを放散しないか，放散が極めて少ないものとする。 3) 接着剤はﾌﾀﾙ酸ｼﾞｰｎ-ﾌﾞﾁﾙ及びﾌﾀﾙ酸ｼﾞｰ2-ｴﾁﾙﾍｷｼﾙを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し，ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ，ﾄﾙｴﾝ，ｷｼﾚﾝ，ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝを放散しないか，放散が極めて少ないものとする。 4) 塗料はﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ，ﾄﾙｴﾝ，ｷｼﾚﾝ，ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝを放散しないか，放散が極めて少ないものとする。 5) 1)，3) 及び 4) の建築材料等を使用して作られた家具，書架，実験台，その他什器等は，ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散しないか，放散が極めて少ないものとする。 規制対象外 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a. 非ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ系接着剤及びﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散しない材料使用 d. ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散しない塗料等使用 e. 非ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ系接着剤及びﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散しない塗料使用 f. 非ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ系接着剤及びﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散しない塗料等使用
	25 室内空気中の 化学物質の 濃度測定	室内空気中のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ，ﾄﾙｴﾝ，ｷｼﾚﾝ，ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ，ｽﾁﾚﾝの濃度を測定し，監督職員に報告すること。 測定は，パッシブ型採集器により行う。 ・ 測定しない　・ 測定する ・ 図示　測定時期，測定対象室，測定個所数
受変電設備	1 電気方式	高圧　・三相３線　6.6KV 低圧　・三相３線　210V　・単相３線　210/105V
	2 盤形式	・屋外キュービクル形　・その他（　　）
	3 主遮断装置	・LBS形　・VCB形　・PF-S形
	4 操作方法	・遮断容量　KA ・手動式　・電気式（ ・交流　・直流）
	5 変圧器	・油入形　・モールド形
	6 設備容量	・変圧器容量　KVA ・高圧コンデンサー設容量　25.5　Kvar
	7 避雷器	・設ける　・設けない
	8 接地	・A種D種共用　B種単独　・単独　・供用 ・避雷接地極は単独とする。 ・接地埋設位置近くに接地埋設標を設ける。
	9 接地用端子箱	・設けない　・設ける
	10 換気用	・設けない　・設ける
	11 基礎及びﾌｪﾝｽ	・別途工事（フェンス）　・本工事（基礎）
	12 その他	・消防庁告示第７号準拠品　・鈴鹿市火災予防条例準拠品
発電設備	1 形式	・キュービクル形　・オープン形
	2 発電機	高圧　・三相３線　6.6KV 低圧　・三相３線　210V　・単相３線　210/105V ・定格出力　KW
	3 原動機	種類　・ディーゼル発電装置　・ガスタービン発電装置 始動方式　・電気式　・空気式 冷却方式　・ラジエータ式　・水循環式
	4 燃料	種類　・軽油　・重油　・灯油 ・小出槽　KL ・地下貯油槽　KL　・別途工事　・本工事 ）
	5 基礎及びﾌｪﾝｽ	・別途工事　・本工事
	6 太陽光発電装置	・太陽電池アレイ　・パワーコンディショナ　・系統連系保護装置　・接続箱 ・系統連携　（・ 有り　・ 無し　）
	7 その他	・搭載タンクの燃料は，満タンにて引き渡しとする
電灯設備	①電気方式	幹線　＊ 単相３線式　210/105V 分岐　＊ 単相２線式　105V ＊ 単相２線式　210V
	2 分電盤	・埋込型　・露出型　（ ・ ドアあり　・ ドアなし ）
	3 ﾌﾛｱｺﾝｾﾝﾄ	・アップコン　・収納式（上下可動）　・固定式
	4 非常用照明器具	・電池内蔵型　・電池別置型
	5 照明用ポール	・配線用遮断器　・カットアウトスイッチ
	6 照度測定	・各居室 50m2に10か所程度 ・学校環境衛生の基準に基づく ・監督職員の指示による。
	7 その他	・分電盤の図面ホルダーに、単線結線図を収納する。
動力設備	①電気方式	幹線　＊ 三相３線式　210V 分岐　＊ 三相３線式　210V
	2 制御盤	・充電部に感電防止の処置を施す。
	3 手元開閉器	・鋼製　・樹脂製
	4 その他	・別途機器への接続は本工事とする。 ・分電盤の図面ホルダーに、単線結線図を収納する。
雷保護設備	1 受電部	・突針　・棟上げ導体　・架空線式
	2 避雷導線	・銅より線　・銅帯　・建築構造体利用
	3 接地極	・単独　・建築構造体利用
	4 接地用端子箱	・黄銅製　・ステンレス製
	5 内部雷保護	・行う
電力貯蔵設備	1 直流電源装置	・整流装置（　　）・蓄電池（　　）
	2 ＵＰＳ	・常時インバータ給電方式　・ラインインタラクティブ方式 ・常時商用給電方式
	3 電力平準化用蓄電池	・リチウム二次電池　・鉛蓄電池 ・ニッケル水素蓄電池
構内配電線路	1 配線方式	・地中管路式　・架空線式
	2 地中線路の余長	・マンホール、ハンドホール内でケーブルの余長を見込む。
	3 地中線保護材料	・波付硬質合成樹脂管（ＦＥＰ）
	4 電柱等立上り部	・耐衝撃性硬質ビニル管（ＨＩＶＥ） ・ケーブル保護用合成樹脂被覆鋼管（ＧＬＴ）
	5 高圧気中開閉器	・耐塩型　・重耐塩型 ・地絡保護　・過電流地絡保護　・過電流方向性地絡保護
	6 装柱器材	・一般型　・耐塩型（ケーブル末端処理材共）
	7 外灯接地	・単独　・共用（ケーブル1芯線使用）
	8 外灯の点滅方式	・手動　・自動（ ・ タイマー　・ 光電式自動点滅器）
	9 土工事	・埋設深さ（ ・ 1.2m以上　・ 0.9m以上　・ 0.6m以上　・ 0.3m以上） ・埋設配管、埋戻しの際30cm毎に転圧すること。
電話設備	1 工事範囲	・配管　・配線　・接地工事
	2 機種	・一般電話機　・多機能電話機　・ＩＰ電話機 ・デジタルコードレス電話機　・ＩＰコードレス電話機
インターホン設備	1 電気方式	・ＡＣ　・ＤＣ
	2 機種	・電話型親機　・スピーカ型親機 ・電話型子機　・スピーカ型子機
	3 通話方式	・親子式　・相互式 ・同時式　・交互式
拡声設備	1 増幅器	・種類（ ・一般放送用　・非常放送用　・併用　・非常用リモコン ） ・形式（ ・卓上型　・壁掛型　・ｷｬﾋﾞﾈｯﾄﾗｯｸ型　・ﾃﾞｽｸ型 ） ・定格出力　９ＯＷ　・性能　級 ・付加機能（ ・コールサイン　・モニター ・リモコンマイク　・マイク入力６回路 ・出力スイッチボード　５回路　）
	2 マイクロホン	・増幅器の入出力配線と外部配線（壁ボックス等）の接続はコネクターによる。 ・ダイナミック形（単一指向性） ・ワイヤレス式（ ・電波式　（ ・ アナログ方式　・ デジタル方式 ） （・ 赤外線式 ） ・マイクスタンド（ ・ 卓上形　・ 床上形 ） ・延長コード（ Ｍ）
電気時計設備	1 親時計	・水晶式　型　回路　精度　級 ・時報器　（ ・プログラムタイマー　・チャイム　） ・時刻補正　（ ・ 標準電波　・ タイムサーバ　）
	2 子時計	・埋込形　・壁掛形　・スピーカ付
	3 体育館用時計	・アナログ　・デジタル
テレビ共同受信設備	1 受信方法	・ＣＡＴＶ　・アンテナ
	2 同軸ケーブル	・発泡ポリエチレン絶縁同軸ケーブル（ＥＭ－ＦＢ）
	3 アンテナ	・ＡＵ－１形　・ＡＵ－２形
	4 アンテナ支持	・側面　・自立
	5 増幅器	・ＵＶ－１　・ＵＶ－２　・ＣＡＴＶ－１
	6 電界強度測定	・要　・不要
	7 電波障害調査	・事前調査ポイント　箇所　・事後調査ポイント　箇所
トイレ呼出設備	1 電気方式	・ＡＣ　・ＤＣ
	2 表示盤	・窓数　１　窓
	3 発信機	・埋込形　・露出形 ・防水
	4 通話機能	・要　・不要
	5 その他	・同一室内に取付ける電鈴、ブザーの音色は異なるものとする。
火災報知設備	1 火災報知装置	・受信機 Ｐ型　１級　４０回線 ・壁掛形　・自立形　・単独　・総合防災盤組込 ・副受信機　窓 ・非常放送連動付 ・光警報装置
	2 非常警報装置	・一体型　・単独
	3 ｶﾞｽ漏れ警報装置	・受信機　級　回線　・ＬＰｶﾞｽ用　・都市ｶﾞｽ用 ・壁掛形　・自立形　・単独　・総合防災盤組込 ・検知器　・プラグ式　・固定式
	4 その他	・防犯設備も含む　・非常通報設備も含む
構内通信線路	1 配線方式	・地中管路式　・架空線式
	2 地中線の余長	・マンホール、ハンドホール内でケーブルの余長を見込む。
	3 地中線保護材料	・波付硬質合成樹脂管（ＦＥＰ）
	4 電柱等立上り部	・耐衝撃性硬質ビニル管（ＨＩＶＥ） ・ケーブル保護用合成樹脂被覆鋼管（ＧＬＴ） ・耐衝撃性硬質ビニル管（ＨＩＶＥ）
	5 土工事	・埋設深さ（ ・ 1.2m以上　・ 0.9m以上　・ 0.6m以上　・ 0.3m以上） ・埋設配管、埋戻しの際30cm毎に転圧すること。
その他		

特記	工事名	図名	縮尺	図面番号
	美旗市民センターロビーほか空調設備改修工事	特記仕様書	Ａ２：Ｎ・Ｓ Ａ３：Ｎ・Ｓ	Ｅ－０１

HAKUHO Architech
白鳳アーキテック　株式会社
１級建築士事務所　登録（三重１－１９８７号）
〒518－0775　三重県名張市希央台5番町109番地
ＴＥＬ　0595-48-6066　ＦＡＸ　0595-48-6067
E-mail　h.a.t@tuba.ocn.ne.jp

承認				管理建築士	印
	田中	西尾	安井	１級　２５６６３０号 萱室　敦司	萱室
図面提出日	２０２４／０７／３１				



空調機内機更新				
機器記号	既設配線	台数	処置	備考
GHP-1-1	VVF2.0-3C(1C=E)	5	機器電源離線，再接続	分岐用ｼﾞｮｲﾝﾄﾎﾞｯｸｽを設置し EM-EEF2.0-3C(1C=E) 1m程度見込む
GHP-2-1	VVF2.0-3C(1C=E)	2	機器電源離線，再接続	〃
GHP-2-2	VVF2.0-3C(1C=E)	2	機器電源離線，再接続	〃

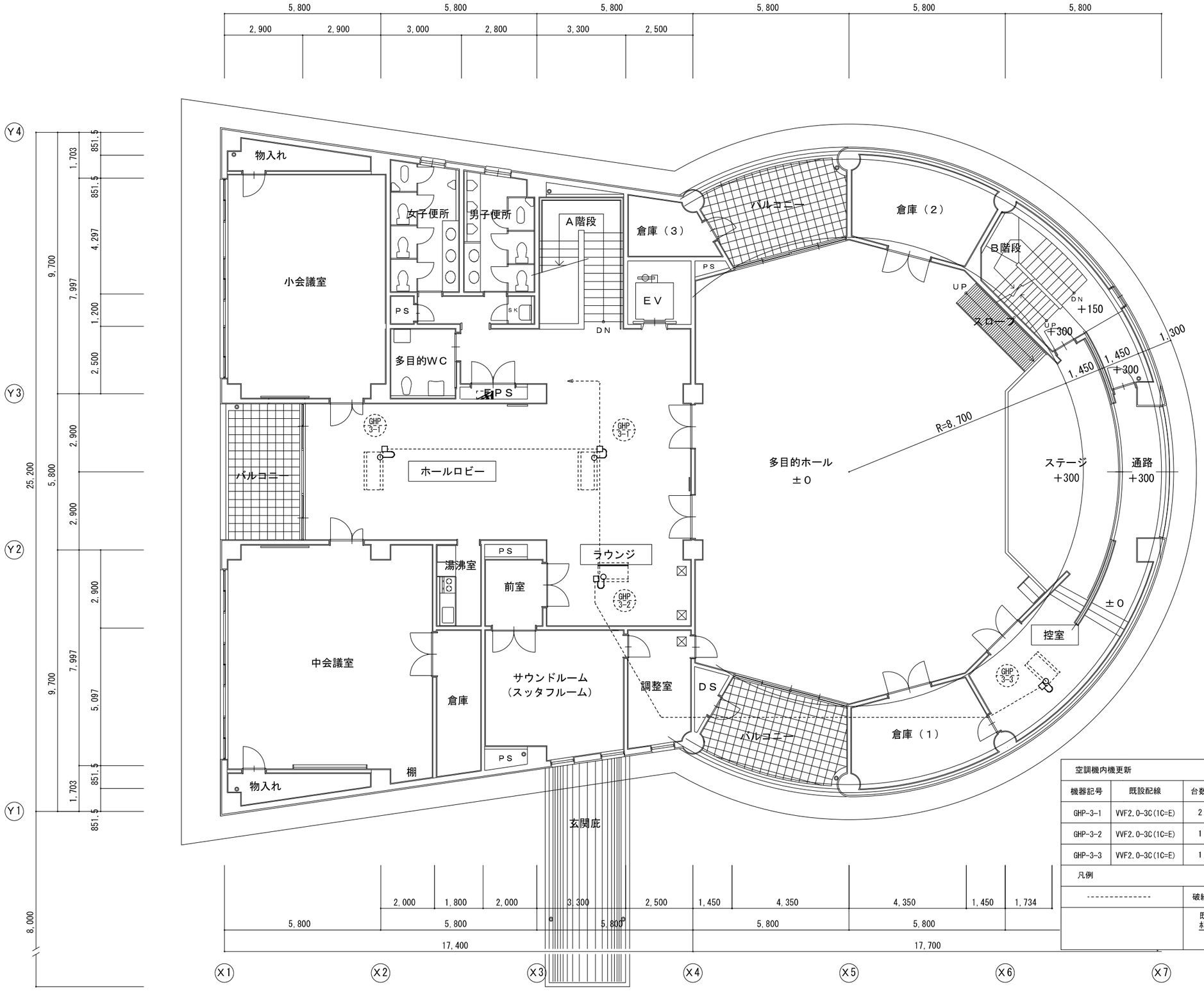
凡例

----------	破線表記=既設配線を示す。
	既設分岐用 ﾎﾞｯｸｽ（又は新設） 機器接続

特　記		工事名	美旗市民センターロビーほか空調設備改修工事
		図名	1階平面図（空調電源設備）
		縮尺	A2：1／100 A3：1／141
		図面番号	E－02

HAKUHO Architech
白鳳アーキテック　株式会社
1級建築士事務所　登録（三重1－1987号）
〒518－0775　三重県名張市希央台5番町109番地
TEL　0595-48-6066　FAX　0595-48-6067
E-mail　h.a.t@tuba.ocn.ne.jp

承　認				管理建築士	印
		田中	西尾	安井	1級　256630号 萱室　敦司	萱室
図面提出日	2024／07／31				



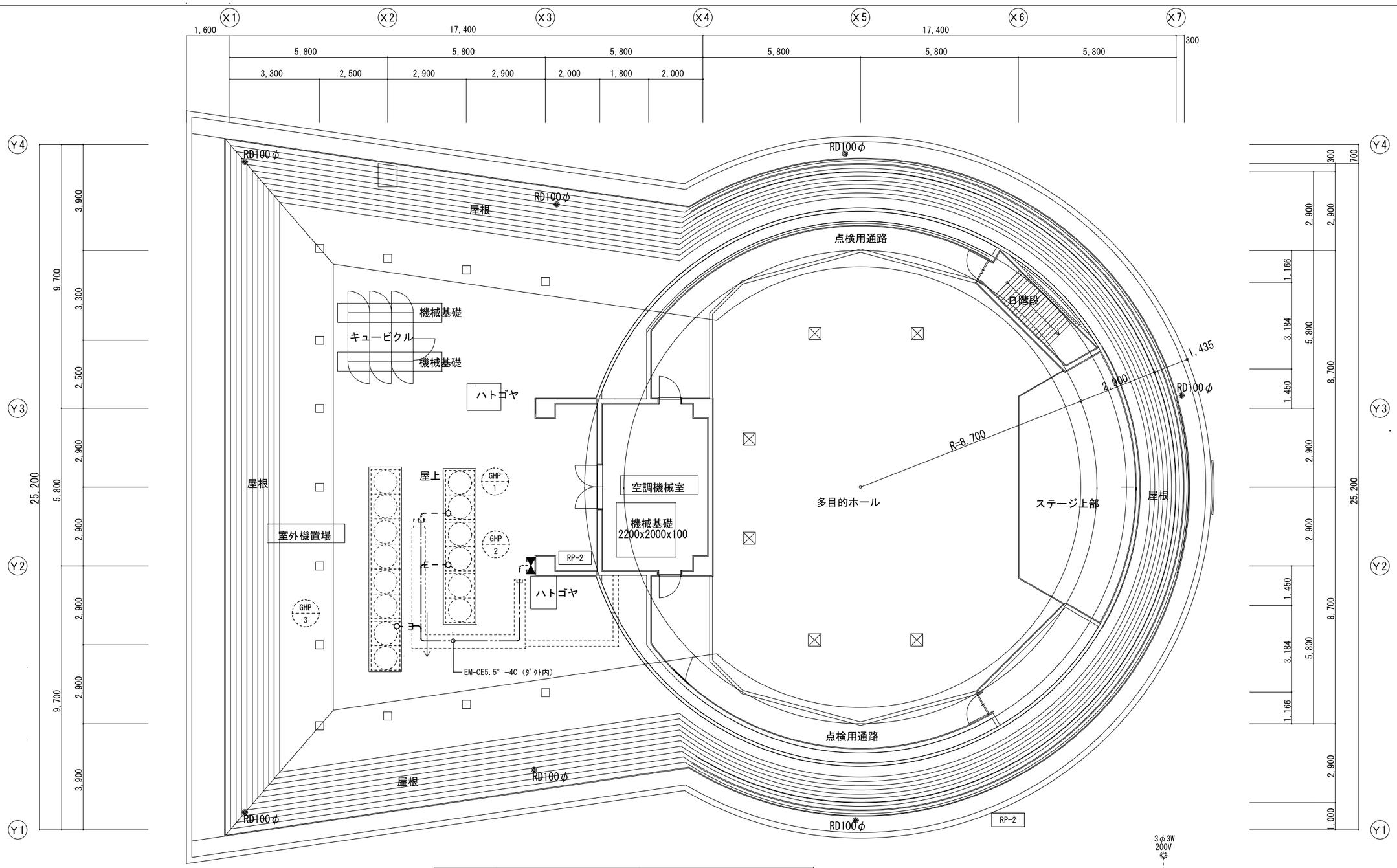
空調機内機更新				
機器記号	既設配線	台数	処置	備考
GHP-3-1	VVF2.0-3C(1C=E)	2	機器電源離線，再接続	分岐用ｼﾞｮｲﾝﾄﾎﾞｯｸｽを設置し EM-EEF2.0-3C(1C=E)1m程度見込む
GHP-3-2	VVF2.0-3C(1C=E)	1	機器電源離線，再接続	〃
GHP-3-3	VVF2.0-3C(1C=E)	1	機器電源離線，再接続	〃

凡例	
----------	破線表記=既設配線を示す。
	既設分岐用ﾎﾞｯｸｽ（又は新設）　機器接続

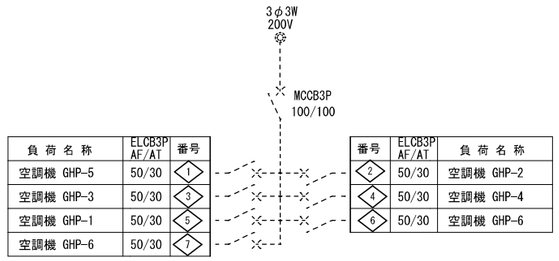
特記	工事名	美旗市民センターロビーほか空調設備改修工事		
	図名	２階平面図(空調電源設備)	縮尺 A２：１／１００ A３：１／１４１	図面番号 E－０３

HAKUHO Architech 白鳳アーキテック　株式会社
１級建築士事務所　登録（三重１－１９８７号）
〒518－0775　三重県名張市希央台5番町109番地
ＴＥＬ　0595-48-6066　ＦＡＸ　0595-48-6067
E-mail　h.a.t@tuba.ocn.ne.jp

承認				管理建築士	印
		田中	西尾	安井	１級　２５６６３０号 萱室　敦司	萱室
図面提出日	２０２４／０７／３１					



空調機更新				
機器記号	既設配線	処置	更新後配線ｻｲｽﾞ	備考
GHP-1	CV5.5°-4C (冷媒共巻)	撤去	EM-CE5.5°-4C(G28)	ﾀﾞｸﾄ内配線　露出部のみ配管
GHP-2	CV5.5°-4C (冷媒共巻)	撤去	EM-CE5.5°-4C(G28)	ﾀﾞｸﾄ内配線　露出部のみ配管
GHP-3	CV5.5°-4C (冷媒共巻)	撤去	EM-CE5.5°-4C(G28)	ﾀﾞｸﾄ内配線　露出部のみ配管
				露出配管塗装のこと。



特記	工事名	美旗市民センターロビーほか空調設備改修工事		
	図名	ＰＨ階平面図(空調電源設備)	縮尺 Ａ２：１／１００ Ａ３：１／１４１	図面番号 Ｅ－０４

HAKUHO Architech
白鳳アーキテック　株式会社
１級建築士事務所　登録（三重１－１９８７号）
〒518－0775　三重県名張市希央台5番町109番地
ＴＥＬ　0595-48-6066　ＦＡＸ　0595-48-6067
E-mail　h.a.t@tuba.ocn.ne.jp

承認				管理建築士	印
		田中	西尾	安井	１級　２５６６３０号 萱室　敦司	萱室
図面提出日	２０２４／０７／３１				

機械設備工事特記仕様書　（☉印を付けたものを適用する。）

建　築　概　要

工事名称　美旗丘市民センターロビーほか空調設備改修工事

工事場所　名張市内

建物名称	構　造	階数	敷地面積（㎡）	備　考
市民センター	ＲＣ造	２		

一　般　事　項

適　用　仕　様　書	・日本建築家協会編「建築設備工事共通仕様書」最新年度版 ・空気調和・衛生工学会規格「空気調和・衛生設備工事標準仕様書」最新年度版 ☉国土交通大臣官房官庁営繕部監修「機械設備工事共通仕様書」最新版
優　先　順　位	１．現場説明事項・質疑応答書 ２．本特記仕様書 ３．設計図書 ４．工事共通仕様書
申　請　手　続	工事に伴う関係官官公署、ガス会社への諸手続きは請負者がこれを代行し、必要経費も本工事に含むものとする。
疑　義	設計図書の誤記、記載漏れ、又図面上納まり不明な事に起因する問題点疑義についてはその都度監督員と協議する事。
変　更	設計図書に明記なくとも、外観上、機能上又は法規上当然必要と認められるものについては本工事に含むものとする。
完　成　図　書	工事完成の上は各種の試験、検査を受け許可書証、成績表、工事写真、日報材料検収簿、完成写真、竣工図、取扱説明書等とりまとめ提出する事。
耐　震　基　準	日本建築センター編「建築設備耐震設計・施工指針」による事。

特　記　事　項

☉機器及び配管等は、地震時に水平移動、転倒、落下などが生じないように「建築設備耐震設計指針」により施工する。

☉防火区画貫通部分は、日本建築センターの性能評定を受けた工法に基づく材料を使用する事。

・建物導入配管（給水・ガス・消火）は十分な可撓性を有する変位吸収配管施工を行う。

・水密を要する部分はつば付スリーブ、地中に用いるスリーブはＶＰ管、他は紙製等のスリーブを使用する事ができる。

・排水管を除く管の埋設深さは、一般敷地３００mm以上、車両道路部６００mm以上とする。

・既設コンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、鉄筋探査を行った上ダイヤモンドカッターによるものとする。

・土間配管は土間筋に吊り下げるなど埋設配管を保持するようにする。

☉屋外露出及び多湿箇所（トレンチピット等）の配管架台は、ＳＵＳ又はＳＳ溶融亜鉛メッキ仕上げとする。

☉機器・配管・支持金物において、異種金属が接する部分には、絶縁処理を行う。

☉屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、ケミカルアンカー（ＳＵＳ）とする。取付はWナット固定とする。

☉監督職員の指示する時期に施設関係者の立会いを行うものとする。

共　通　事　項

保　温　工　事	☉保温施工範囲は共通仕様書による。		
	☉保温施工種別	・共通仕様書による。	
		☉下表による。（但しダクト、機器、煙道は共通仕様書による。）	
屋内露出	グラスウール保温筒	樹脂カバー仕上げ	
屋外露出・多湿箇所	ＰＳ保温筒	ＳＵＳ鋼板仕上げ	
天井・ＰＳ内	グラスウール保温筒	アルミガラスクロス	
床下・暗渠内	ＰＳ保温筒	アルミガラスクロス	
	・保温の厚さ	・共通仕様書による。	
		・下表による。（但しダクト、機器、煙道は共通仕様書による。）	

給排水管・給湯管・温水管・ドレン管	８０Ａ以下	２０mm	冷水管・冷温水管	２５Ａ以下	３０mm
消火管（但し図示に特記ある場合のみ）	１００～１５０Ａ	２５mm		３２～２００Ａ	４０mm
	２００Ａ以上	４０mm		２５０Ａ以下	５０mm

・冷媒配管の屋外露出部はＳＵＳ鋼板仕上げとする。　・冷媒配管の屋外露出部は化粧ケース仕上げとする。

工　事　種　別

	屋　外	屋　内（　　）	屋　内（　　）	屋　内（　　）	屋　内（　　）
給排水衛生設備					
・　給　水　設　備					
・　排　水　設　備					
・　衛生器具設備					
・　給　湯　設　備					
・　ガ　ス　設　備	○				
・　消　火　設　備					
・　床　暖　房　設　備					
・　浄化槽設備					
空　調　設　備					
・　機　器　設　備	○	○			
・　配　管　設　備	○	○			
・　ダクト設備					
・　換　気　設　備					
・　排　煙　設　備					
・　自動制御設備					

給　水　設　備

・　給　水　方　式	・　水　道　直　結　式 ・　高　架　水　槽　式　（・　市水　・　　　　） ・　圧　力　方　式　（・　圧力タンク　・　回転数制御　）
・　受　水　槽　<本体>	・　ＦＲＰ製　・一体型（・複合板・単板）・パネル型（・複合板・単板） ・　ステンレス製　・一体型　・パネル型 ・　鋼板製　・一体型　・パネル型
・　高　架　水　槽　<本体>	・　ＦＲＰ製　・一体型（・複合板・単板）・パネル型（・複合板・単板） ・　ステンレス製　・一体型　・パネル型
・　配　管　材　料	・　ライニング鋼管<一般>（・ＶＡ　・ＶＢ　・ＶＤ　・ＰＡ　・ＰＢ　・ＰＤ） ・　ライニング鋼管<土中>（・ＶＤ　・ＰＤ）
・　弁　類	<直結部分>　・　水道業者指定品 <その他の部分>　・　ＪＩＳ　５　kgf／cm²　☉　ＪＩＳ　１０　kgf／cm²
・　量　水　器	・　貸与品　・　買い取り（私設）　☉　既設利用
・　引込加入、市納金等	・　要　（・別途工事　・本工事　）　☉　不要
・　そ　の　他	・施設負担金は別途

排　水　設　備

・　排　水　方　式	<屋　内>　・　分流方式　・　合流方式 <屋　外>　・　分流方式　・　合流方式 <雨　水>　・　分流方式　・　合流方式
・　放　流　先	<汚　水>　・　下　水　管　・　浄　化　槽　・　合併処理槽　・　汲み取り <雑排水>　・　下　水　管　・　合併処理槽　・　浄化槽　・　既　設　桝 <雨　水>　・　下　水　管　・　調　整　池　☉　側溝又は河川　・　既　設　桝
・　配　管　材　料	<屋内汚水管>　・　メカニカル形排水鋳鉄管 ・　排水用塩ビライニング鋼管（可とう継手又はＭＤ継手） ・　硬質塩化ビニール管（ＶＰ）　・　耐火被覆ビニール管 <雑排水管>　・　配管用炭素鋼鋼管（白） ・　排水用塩ビライニング鋼管（可とう継手又はＭＤ継手） ・　硬質塩化ビニール管（ＶＰ）　・　耐火被覆ビニール管 <通気管>　・　配管用炭素鋼鋼管（白） ・　硬質塩化ビニール管（ＶＰ）　・　耐火被覆ビニール管 <屋外排水管>　・　遠心力鉄筋コンクリート管（外圧管　・２種　・１種） ・　硬質塩化ビニール管（ＶＰ）　・　硬質塩化ビニール管（ＶＵ）１５０以上
・　桝	・　公団形（Ｂ種）　・　現場打　・　市販桝　・　小口径　・　ビニール桝
・　そ　の　他	

衛　生　器　具　設　備

・　大便器洗浄方式	・　ＦＶ（・節水形　・低圧式）　・　洗浄タンク
・　水　栓	・　節水コマ（泡沫式は除く）　・　普通コマ
・　そ　の　他	・　一部を除き和洋リモデル工法を採用する。

給　湯　設　備

・　給　湯　方　式	・　中央式　・　ボイラー　・　温水機　・　ガス給湯器　・　電気温水器 ・　局所式　・　ガス給湯器　・　瞬間湯沸器　・　電気温水器
・　配　管　材　料	・　銅管（・Ｍ　・Ｌ）　・　被覆銅管（・Ｍ　・Ｌ）・　ＳＵＳ管 ・　耐熱性硬質塩ビライニング鋼管（隠蔽）　・　配管用炭素鋼鋼管（黒） ・　内外面耐熱性硬質塩ビライニング鋼管<埋設> ・　耐熱性硬質塩化ビニール管（土中）　※伸縮対策を行う事
・　燃　料	・　都市ガス　・　ＬＰＧ　・　灯油　・　Ａ重油　・　電気
・　そ　の　他	

ガ　ス　設　備

☉　ガスの種別	☉　都市ガス　（種別　１３Ａ　発熱量　kcal／m³ 供給事業者名　名張近鉄ガス　） ・　液化石油ガス（発熱量　１２，０００kcal／kg）団地ＬＰＧ
☉　配　管　材　料	・　配管用炭素鋼鋼管（白） ・　ビニール被覆鋼管<屋内埋設>　・　ポリエチレン被覆鋼管<埋設>　・　ポリ管 ☉　都市ガスの場合、供給事業者の仕様による。
・　ボ　ン　ベ	・　別途　・　本工事 ボンベ　（・１０kg　・２０kg　・５０kg　・バルク）　本数（　８本） 転倒防止鎖等（・本工事　・別途工事）
・　気　化　装　置	・　要（・電気式　・　　　）　・　不要
・　メ　ー　タ　ー	・　貸与品　・　買取品
・　ガス漏れ検警報器	・　本工事　・　別途工事　・　一般形　・　自動遮断弁付
・　引込納付金等	・　要（・別途工事　・本工事）　・　不要
・　そ　の　他	

消　火　設　備

・　消火設備の種別	・　屋内消火栓　・　屋外消火栓　・　スプリンクラー　・　泡消火　・　水道連結型ＳＰ ・　連結送水管　・　連結散水管　・　移動粉末消火　・　フード消火　・　消火器
・　屋内消火栓箱	・　ＨＢ－１Ａ　・　ＨＢ－１Ｂ　・　ＨＢ－２Ａ　・　ＨＢ－２Ｂ ・　ＨＢ－３Ａ　・　ＨＢ－３Ｂ　・　ＨＢ－４Ａ　・　ＨＢ－４Ｂ　・　Ｓ
・　屋外消火栓箱	・　ＨＢ－２１　・　ＨＢ－２２
・　連結送水管	・　ＨＢ－１１Ａ．Ｂ　・　ＨＢ－１２Ａ．Ｂ
・　配　管　材　料	・　鋼管（・ＪＩＳ　Ｇ　３４５２　・ＪＩＳ　Ｇ　３４５４） ・　消火栓用塩ビ外面被覆鋼管（ＳＧＰ－ＶＳ）
・　そ　の　他	・　消火栓箱は指定色焼付塗装とする。

ろ　過　設　備

・　方　式	・　砂　・　フィルター
・　制　御	・　全自動　・　手動
・　配　管　材　料	・　配管用炭素鋼鋼管（白）　・　耐衝撃性塩化ビニル管（ＨＩ） ・　耐熱性塩化ビニール管
・　そ　の　他	

浄　化　槽　設　備

・　方　式、容　量	・　単独　・　合併　算定人員　人槽　処理水量　ｍ３／日
・　材　質	※　図中浄化槽詳細図による
・　補強スラブ	※　図中浄化槽詳細図による
・　そ　の　他	

機　器　設　備

・　設計空気条件 （特記なきは建設省 建築設備設計基準による）	・　外　気　<夏期>　℃　％　<冬季>　℃　％ ・　室　内　<夏期>　℃　％　<冬季>　℃　％ ・　一般系統の湿度は成り行きとする。
・　熱　源　機　器	・　冷温水発生機　・　チラー（・空冷ＨＰ　・空冷　・水冷ＨＰ　・水冷） ・　温水ボイラー　・　氷蓄熱
☉　放　熱　機	☉　空冷ＨＰパッケージ　☉　ガスＨＰパッケージ　・　ＦＣＵ　・　ＡＨＵ
・　そ　の　他	・

配　管　設　備

☉　配　管　方　式	☉　冷媒配管　・　冷温水配管　・　冷却水配管　・　温水配管
☉　配　管　材　料	☉　冷媒管　・　冷媒用銅管　☉　冷媒用被覆銅管 ・　冷温水管　・　配管用炭素鋼鋼管（白）　・　耐熱性硬質塩ビライニング鋼管 ・　冷水・温水管　・　配管用炭素鋼鋼管（白）　・　耐熱性硬質塩ビライニング鋼管 ・　冷却水管　・　硬質塩ビライニング鋼管（・ＶＡ・ＶＢ） ・　配管用炭素鋼鋼管（白）　・　硬質塩化ビニール管（ＶＰ） ☉　ドレン管　・　配管用炭素鋼鋼管（白）　☉　硬質塩化ビニール管（ＶＰ） ・　油管　・　配管用炭素鋼鋼管（黒）　・　外面塩ビ被覆鋼管（ＶＰ） ・　蒸気管　・　配管用炭素鋼鋼管（黒）
・　弁　類	・　ＪＩＳ　５　kgf／cm²　・　ＪＩＳ　１０　kgf／cm² 呼び径１００Ａ以上の弁は係員と協議の上バタフライ弁を使用してよい。
☉　そ　の　他	☉　保温厚　冷媒配管（ガス管）保温厚20mm　冷媒配管（液管）保温厚10mm

ダ　ク　ト　設　備

・　風　道	☉　低速風道　・　高速風道
・　風　道　材　質	☉　亜鉛鉄板　・　塩化ビニールライニング鋼板　・　ステンレス板 ・　グラスウールダクト　・　消音フレキ
・　吹出口・吸込口の材質	・　アルミニウム製　・　鋼板製（指定色焼付塗装）
・　そ　の　他	

換　気　設　備

☉　換　気　方　式	・　集中換気　☉　個別換気
☉　風　道	☉　低速風道　・　高速風道
☉　風　道　材　質	・　亜鉛鉄板　・　塩化ビニールライニング鋼板　・　ステンレス板 ・　硬質塩化ビニール管（ＶＵ）　☉　スパイラルダクト
☉　吹出口・吸込口の材質	ダクト当該項目による。
・　耐　火　被　覆	・　湯沸室排気ダクトについては法規に準じた耐火被覆を行う。
☉　そ　の　他	☉　外気取入ダクトは断熱のこと。

排　煙　設　備

・　風　道　材　質	・　亜鉛鉄板　・　普通鋼板（厚１．６mm）
・　排煙口の形式	・　天井取付　（・　スリット形　・　スイング形　）
・　排煙口開放装置	・　手動　・　手動及び遠隔操作可能なもの
・　復　帰　方　法	・　遠隔形　・　手元形
・　排煙風量測定	・　建築設備定期検査業務指導書（日本建築設備安全センター）の排煙風量の検査方式に準ずる。
・　そ　の　他	

自　動　制　御　設　備

・　制　御　方　式	・　電子　・　電気　・　空気
・　そ　の　他	

管	継手共	水マーク表示品　ＷＳＰ規格品　ＪＩＳマーク表示品　他規格品
弁	青銅弁・鋳鉄弁	ＪＩＳマーク表示品
保温材	ＲＷ・ＧＷ保温材	ＪＩＳマーク表示品
ポンプ	ポンプ類	評価事業名簿による
衛生器具	衛生陶器・水栓	ＪＩＳマーク表示品　（規格以外）　ＬＩＸＩＬ　ＴＯＴＯ
水槽	ＦＲＰ製	積水プラント　日立化成　ブリヂストン　三菱樹脂
	鉄パネル	積水プラント　ブリヂストン
桝	桝類（公団型）	協和コンクリート　桑名工業　昭和工業　ネオジオ　丸八産業
鋳鉄製品	排水金物	オオタケ　カネソウ　ダイドレ　中部　南濃　福西　ホクキャスト
	鋳鉄製蓋	（マンホール、弁桝蓋）　評価事業名簿による
量水器	量水器	愛知時計　金門製作所　リコー精器
ガス器具	ガス配管器具	伊藤工機　桂精機　藤井合金　富士工器
	ガス給湯器（都市ガス）	ガス供給者の承認する製造者の製品
	ガス給湯器（ＬＰＧ）	「ガス事業法」「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」に基づき、省令による証票を付したもの
	厨房器具	アイホー　コメットカトウ　サンウェーブ　トーヨー　日本調理機　フジマック
ガス警報	ガス警報システム	金門製作所　富士工器　富士電機　パナソニック　矢崎総業
濾過装置	濾過器	三協　三進　東西化学産業
滅菌器	滅菌器	磯村　オーヤラックス　水道機工　日本曹達
消火設備	消火栓類	立売堀製作所　岸本産業　北浦製作所　村上製作所　横井製作所
	消火栓ホース	日本消防検定協会の合格表示品
	スプリンクラー・泡消火	宮田　ニッタン　日本ドライケミカル　能美防災　ホーチキ
	特殊ガス消火	川重防災　セコム　日昭・林テクノス　日信防災　ニッタン　能美防災
浄化槽	合併浄化槽（ＲＣ造）	ＬＩＸＩＬ　日本理化　西原
	合併・単独浄化槽	（ＦＲＰ製）　建設大臣型式認定品
簡易水洗	クリーントイレ	ＬＩＸＩＬ　積水化学　ネポン　日立化成　パナソニック　ロンシール
グリストラップ	グリス・ガソリントラップ	カネソウ　栗本　下田機工　積水プラントシステム
特殊ガス	特殊ガス設備	川重防災　セントラルユニ　田中製作所　テイサン
製缶類	製缶類・熱交換器	島倉鉄工所　広島鉄工　ベルテクノ　ホーコス　森松工業
温水機	真空式温水機	昭和鉄工　高尾鉄工所　日本サーモエナー　前田鉄工所　三浦
	電気温水機	愛知電機　東芝　日本イトミック　パナソニック　三菱電機
ボイラー	鋼製ボイラー	石川島汎用ボイラー　高尾鉄工所　日本サーモエナー　前田鉄工所　三浦
	セクショナルボイラー	昭和鉄工　巴商会　前田鉄工
	小型ボイラー	愛知電機　石川島汎用ボイラー　荏原ボイラー　クボタ　昭和鉄工　巴商会
冷凍機	冷温水発生機（５０ＲＴ以上）	荏原製作所　川崎重工業　クボタ　パナソニック　ダイキン工業　日立製作所　三菱重工業
	小型冷温水発生機	荏原製作所　三洋電機　東芝　日立製作所　パナソニック　矢崎総業
	冷凍機	荏原製作所　川重冷熱工業　クボタ　ダイキン工業　日立製作所　三菱重工業　三菱電機
空気調和機	パッケージ型空調機	ダイキン工業　東芝　日立製作所　パナソニック　三菱重工業　三菱電機
	ガスエンジン空調機	ヤンマー　パナソニック　三菱重工　アイシン
	ファンコイルユニット	評価事業名簿による
	ファンコンベクター	評価事業名簿による
防振装置	防振材・防振装置	倉敷化工　高砂ゴム　特許機器　ブリヂストン　明治ゴム化成
加湿器	加湿器類	ウェットマスター　ピーエス工業　山武軽装
送風機	送風機類	評価事業名簿による
換気扇	換気扇類	栗田工業　東芝　日立製作所　パナソニック　三菱電機
全熱交換器	全熱交換器	評価事業名簿による
ダクト	吹出口・吸込口	空研工業　新晃工業　トーキン　錦興業
付属品	風量ユニットＣＡＶ・ＶＡＶ	エアコンスター　クボタ　新晃工業　東プレ
ダクト	亜鉛鉄板	ＪＩＳ規格品
	ステンレス鋼板	ＪＩＳ規格品
	スパイラルダクト	大阪ラセン管工業　栗本　泰弘　富士空調工業　フジモリ産業
	フレキダクト	アライ実業　オーツカ　栗本
自動制御	自動制御機器	トキメックランディスギア　山武ハネウェル　横河ジョンソンコントロールズ

特　記	工事名	美旗市民センターロビーほか空調設備改修工事		
	図名	特記仕様書	縮尺　Ａ２：１／ＮＳ　Ａ３：１／ＮＳ	図面番号　Ｍ－０１

HAKUHO Architech
白鳳アーキテック　株式会社
１級建築士事務所　登録（三重１－１９８７号）
〒518－0775　三重県名張市希央台5番町109番地
ＴＥＬ　0595-48-6066　ＦＡＸ　0595-48-6067
E-mail　h.a.t@tuba.ocn.ne.jp

承　認				管理建築士	印
	田中	西尾	安井	１級　２５６６３０号 萱室　敦司	萱室
図面提出日	２０２４／０７／３１				

空調機器表（新設）

機器番号	機器名称 参考型番	形　式　・　仕　様	電気容量 電源 （V）	圧縮機 （KW）	消費電力 （KW）	台数	設置場所及び備考
ＧＨＰ－１	ｶﾞｽﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟｴｱｺﾝ	形　式　屋外機	3-200	---	冷　1.24	1	PH階
	U-GH560U1DR	冷房能力　56.0　ｋＷ　　燃焼消費量 45.3 ｋＷ			暖　0.74		※冷媒配管洗浄再利用
	YNZP-560L1DB	暖房能力　63.0　ｋＷ　　燃焼消費量 43.3 ｋＷ					参考重量 795kg
	GXUBP-560G	付属品　　他一式共					
		基　礎　　防振架台、既設ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎（再利用）					
ＧＨＰ－１－１	ｶﾞｽﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟｴｱｺﾝ	形　式　天井ｶｾｯﾄ2方向	1-200	---	冷　0.125	5	1階ふれあい談話ｺｰﾅｰ
	S-G112LU1	冷房能力　11.2（―～―-）　ｋＷ			暖　0.09		1階ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ、ﾛﾋﾞｰ
	HWGP-112K2	暖房能力　13.2（―～―-）　ｋＷ			低温 ―-		1階まちの保健室
	FGXCP-112EA	付属品　　ﾘﾓﾃﾞﾙﾊﾟﾈﾙ×1（まちの保健室）					参考重量 39kg/台
		付属品　　ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ、他一式共					
ＧＨＰ－２	ｶﾞｽﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟｴｱｺﾝ	形　式　屋外機	3-200	---	冷　1.24	1	PH階
	U-GH560U1DR	冷房能力　56.0　ｋＷ　　燃焼消費量 45.3 ｋＷ			暖　0.74		※冷媒配管洗浄再利用
	YNZP-560L1DB	暖房能力　63.0　ｋＷ　　燃焼消費量 43.3 ｋＷ					参考重量 795kg
	GXUBP-560G	付属品　　他一式共					
		基　礎　　防振架台、既設ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎（再利用）					
ＧＨＰ－２－１	ｶﾞｽﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟｴｱｺﾝ	形　式　天井ｶｾｯﾄ2方向	1-200	---	冷　0.23	2	1階ｸｯｷﾝｸﾞﾙｰﾑ
	S-G160LU1	冷房能力　16.0（―～―-）　ｋＷ			暖　0.20		参考重量 39kg/台
	HWGP-160K2	暖房能力　19.0（―～―-）　ｋＷ			低温 ―-		
	FGXCP-160EA	付属品　　ﾘﾓﾃﾞﾙﾊﾟﾈﾙ、ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ、他一式共					
ＧＨＰ－２－２	ｶﾞｽﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟｴｱｺﾝ	形　式　天井ｶｾｯﾄ2方向	1-200	---	冷　0.125	2	1階ｱﾄﾘｴ
	S-G112LU1	冷房能力　11.2（―～―-）　ｋＷ			暖　0.09		参考重量 39kg/台
	HWGP-112K2	暖房能力　13.2（―～―-）　ｋＷ			低温 ―-		
	FGXCP-112EA	付属品　　ﾘﾓﾃﾞﾙﾊﾟﾈﾙ、ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ、他一式共					
ＧＨＰ－３	ｶﾞｽﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟｴｱｺﾝ	形　式　屋外機	3-200	---	冷　0.65	1	PH階
	U-GH355U1DR	冷房能力　35.5　ｋＷ　　燃焼消費量 32.0 ｋＷ			暖　0.45		※冷媒配管洗浄再利用
	YNZP-355L1NB	暖房能力　40.0　ｋＷ　　燃焼消費量 28.9 ｋＷ					参考重量 625kg
	GYBP-335G	付属品　　他一式共					
		基　礎　　防振架台、既設ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎（再利用）					
ＧＨＰ－３－１	ｶﾞｽﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟｴｱｺﾝ	形　式　天井ｶｾｯﾄ2方向	1-200	---	冷　0.125	2	2階ﾎｰﾙ、ﾛﾋﾞｰ
	S-G112LU1	冷房能力　11.2（―～―-）　ｋＷ			暖　0.09		参考重量 39kg/台
	HWGP-112K2	暖房能力　13.2（―～―-）　ｋＷ			低温 ―-		
	FGXCP-112EA	付属品　　ﾘﾓﾃﾞﾙﾊﾟﾈﾙ、ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ、他一式共					
ＧＨＰ－３－２	ｶﾞｽﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟｴｱｺﾝ	形　式　天井ｶｾｯﾄ2方向	1-200	---	冷　0.025	1	2階ﾗｳﾝｼﾞ
	S-G28LU1	冷房能力　2.8（―～―）　ｋＷ			暖　0.025		参考重量 23kg/台
	HWGP-28K2	暖房能力　3.4（―～―）　ｋＷ			低温 ―-		
	FGXCP-28EA	付属品　　ﾘﾓﾃﾞﾙﾊﾟﾈﾙ、ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ、他一式共					
ＧＨＰ－３－３	ｶﾞｽﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟｴｱｺﾝ	形　式　天井ｶｾｯﾄ2方向	1-200	---	冷　0.025	1	2階控室
	S-G45LU1	冷房能力　4.5（―～―）　ｋＷ			暖　0.025		参考重量 25kg/台
	HWGP-45K2	暖房能力　5.3（―～―）　ｋＷ			低温 ―-		
	FGXCP-45EA	付属品　　ﾘﾓﾃﾞﾙﾊﾟﾈﾙ、ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ、他一式共					
Ｒ－１	集中ﾘﾓｺﾝ	形　式　液晶ﾘﾓｺﾝ：最多16系統256台	1-100			1	1階事務所
		※今回更新空調機及び、既設空調の調整・再設定を行う事					

注記　※室外機－室内機間の２次側配線は冷媒管と抱き合わせの上本工事とし、リモコン配線共本工事とする。
消費電力は参考とする。
※室外機基礎に用いるケミカルアンカーについては、「建築設備耐震設計施工指針」に基づいた施工を行う事。又、引抜試験（第三者）を行う事。

空調機器表（既設）

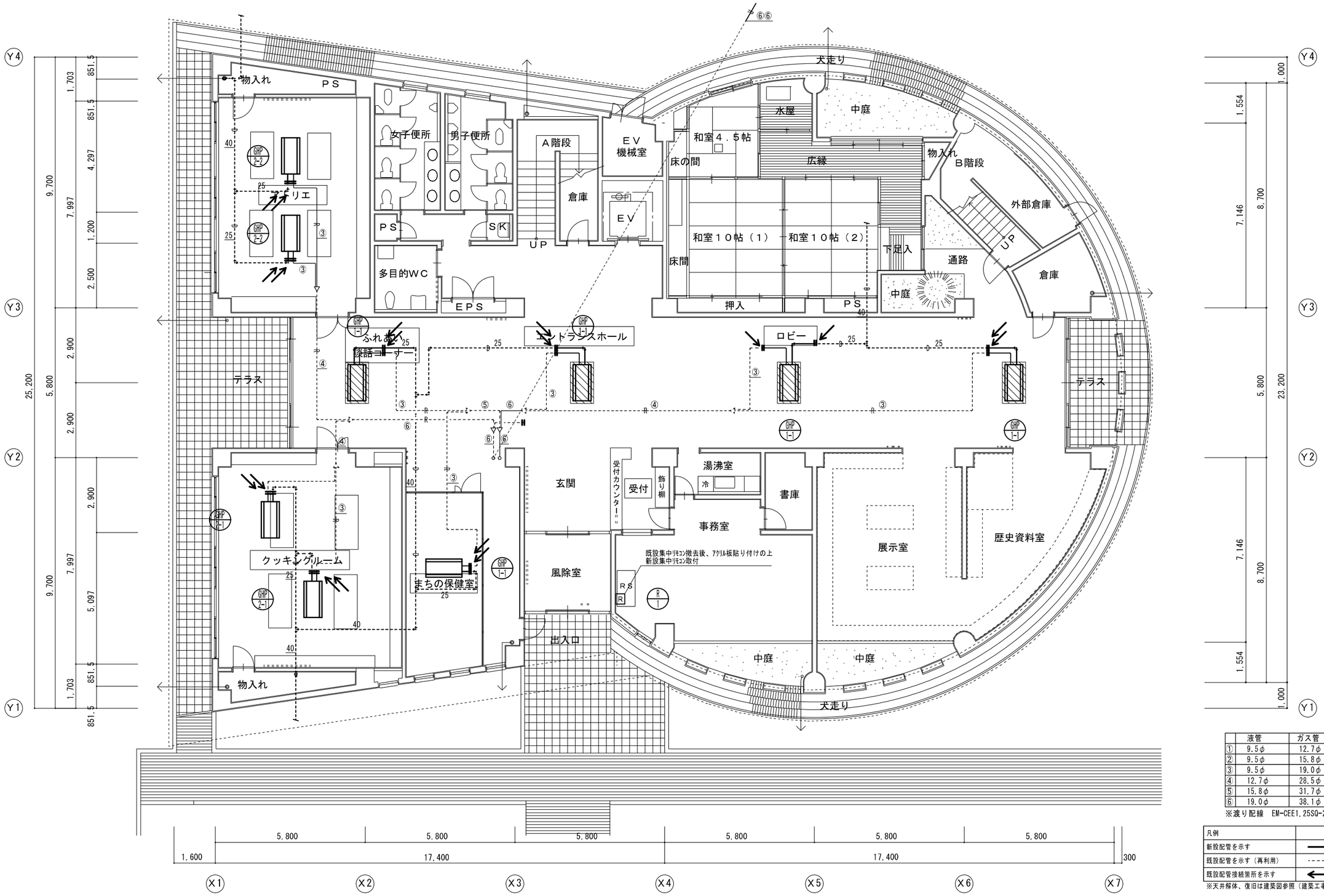
機器番号	機器名称 参考型番	形　式　・　仕　様	電気容量 電源 （V）	圧縮機 （KW）	消費電力 （KW）	台数	設置場所及び備考
ＫＧＨＰ－１	ｶﾞｽﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟｴｱｺﾝ	形　式　屋外機	3-200	---	冷　―-	1	PH階
	SGP-CH560G1C	冷房能力　56.0　ｋＷ　　燃焼消費量 45.3 ｋＷ			暖　―-		※冷媒回収・破壊処理を行う事
	※撤去	暖房能力　63.0　ｋＷ　　燃焼消費量 43.3 ｋＷ					参考重量 705kg
		付属品　　他一式共					
		基　礎　　ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎（残置）					
ＫＧＨＰ－１－１	ｶﾞｽﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟｴｱｺﾝ	形　式　天井ｶｾｯﾄ2方向	1-200	---	冷　―-	5	1階ふれあい談話ｺｰﾅｰ
	SGP-SSH112G1	冷房能力　11.2（―～―-）　ｋＷ			暖　―-		1階ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ、ﾛﾋﾞｰ
	※撤去	暖房能力　13.2（―～―-）　ｋＷ			低温 ―		1階まちの保健室
		付属品　　ﾘﾓｺﾝ、他一式共					参考重量 41kg/台
ＫＧＨＰ－２	ｶﾞｽﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟｴｱｺﾝ	形　式　屋外機	3-200	---	冷　―-	1	PH階
	SGP-CH560G1C	冷房能力　56.0　ｋＷ　　燃焼消費量 45.3 ｋＷ			暖　―-		※冷媒回収・破壊処理を行う事
	※撤去	暖房能力　63.0　ｋＷ　　燃焼消費量 43.3 ｋＷ					参考重量 705kg
		付属品　　他一式共					
		基　礎　　ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎（残置）					
ＫＧＨＰ－２－１	ｶﾞｽﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟｴｱｺﾝ	形　式　天井ｶｾｯﾄ2方向	1-200	---	冷　―-	2	1階ｸｯｷﾝｸﾞﾙｰﾑ
	SGP-SSH140G1	冷房能力　14.0（―～―-）　ｋＷ			暖　―-		参考重量 41kg/台
	※撤去	暖房能力　16.0（―～―-）　ｋＷ			低温 ―		
		付属品　　ﾘﾓｺﾝ、他一式共					
ＫＧＨＰ－２－２	ｶﾞｽﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟｴｱｺﾝ	形　式　天井ｶｾｯﾄ2方向	1-200	---	冷　―-	2	1階ｱﾄﾘｴ
	SGP-SSH112G1	冷房能力　11.2（―～―-）　ｋＷ			暖　―-		参考重量 41kg/台
	※撤去	暖房能力　13.2（―～―-）　ｋＷ			低温 ―		
		付属品　　ﾘﾓｺﾝ、他一式共					
ＫＧＨＰ－３	ｶﾞｽﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟｴｱｺﾝ	形　式　屋外機	3-200	---	冷　―-	1	PH階
	SGP-CH335G1C	冷房能力　35.5　ｋＷ　　燃焼消費量 32.0 ｋＷ			暖　―-		※冷媒回収・破壊処理を行う事
	※撤去	暖房能力　40.0　ｋＷ　　燃焼消費量 28.9 ｋＷ					参考重量 495kg
		付属品　　他一式共					
		基　礎　　ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎（残置）					
ＫＧＨＰ－３－１	ｶﾞｽﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟｴｱｺﾝ	形　式　天井ｶｾｯﾄ2方向	1-200	---	冷　―-	2	2階ﾎｰﾙ、ﾛﾋﾞｰ
	SGP-SSH112G1	冷房能力　11.2（―～―-）　ｋＷ			暖　―-		参考重量 41kg/台
	※撤去	暖房能力　13.2（―～―-）　ｋＷ			低温 ―		
		付属品　　ﾘﾓｺﾝ、他一式共					
ＫＧＨＰ－３－２	ｶﾞｽﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟｴｱｺﾝ	形　式　天井ｶｾｯﾄ2方向	1-200	---	冷　―-	1	2階ﾗｳﾝｼﾞ
	SGP-SSH28G1	冷房能力　2.8（―～―）　ｋＷ			暖　―-		参考重量 23kg/台
	※撤去	暖房能力　3.4（―～―）　ｋＷ			低温 ―		
		付属品　　ﾘﾓｺﾝ、他一式共					
ＫＧＨＰ－３－３	ｶﾞｽﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟｴｱｺﾝ	形　式　天井ｶｾｯﾄ2方向	1-200	---	冷　―-	1	2階控室
	SGP-SSH45G1	冷房能力　4.5（―～―）　ｋＷ			暖　―-		参考重量 23kg/台
	※撤去	暖房能力　5.3（―～―）　ｋＷ			低温 ―		
		付属品　　ﾘﾓｺﾝ、他一式共					
ＫＲ－１	集中ﾘﾓｺﾝ	形　式　液晶ﾘﾓｺﾝ：最多16系統256台	1-100			1	1階事務所
	※撤去						

注記　※機器類は有価物処分を行う事

特　記	工事名	美旗市民センターロビーほか空調設備改修工事		
	図名	新設・既設空調機器表	縮尺 A２：１／NS　A３：１／NS	図面番号 Ｍ－０２

HAKUHO Architech
白鳳アーキテック　株式会社
１級建築士事務所　登録（三重１－１９８７号）
〒518－0775　三重県名張市希央台5番町109番地
ＴＥＬ　0595-48-6066　ＦＡＸ　0595-48-6067
E-mail　h.a.t@tuba.ocn.ne.jp

承　認				管理建築士	印
	田中	西尾	安井	１級　２５６６３０号 萱室　敦司	萱室
図面提出日	２０２４／０７／３１				



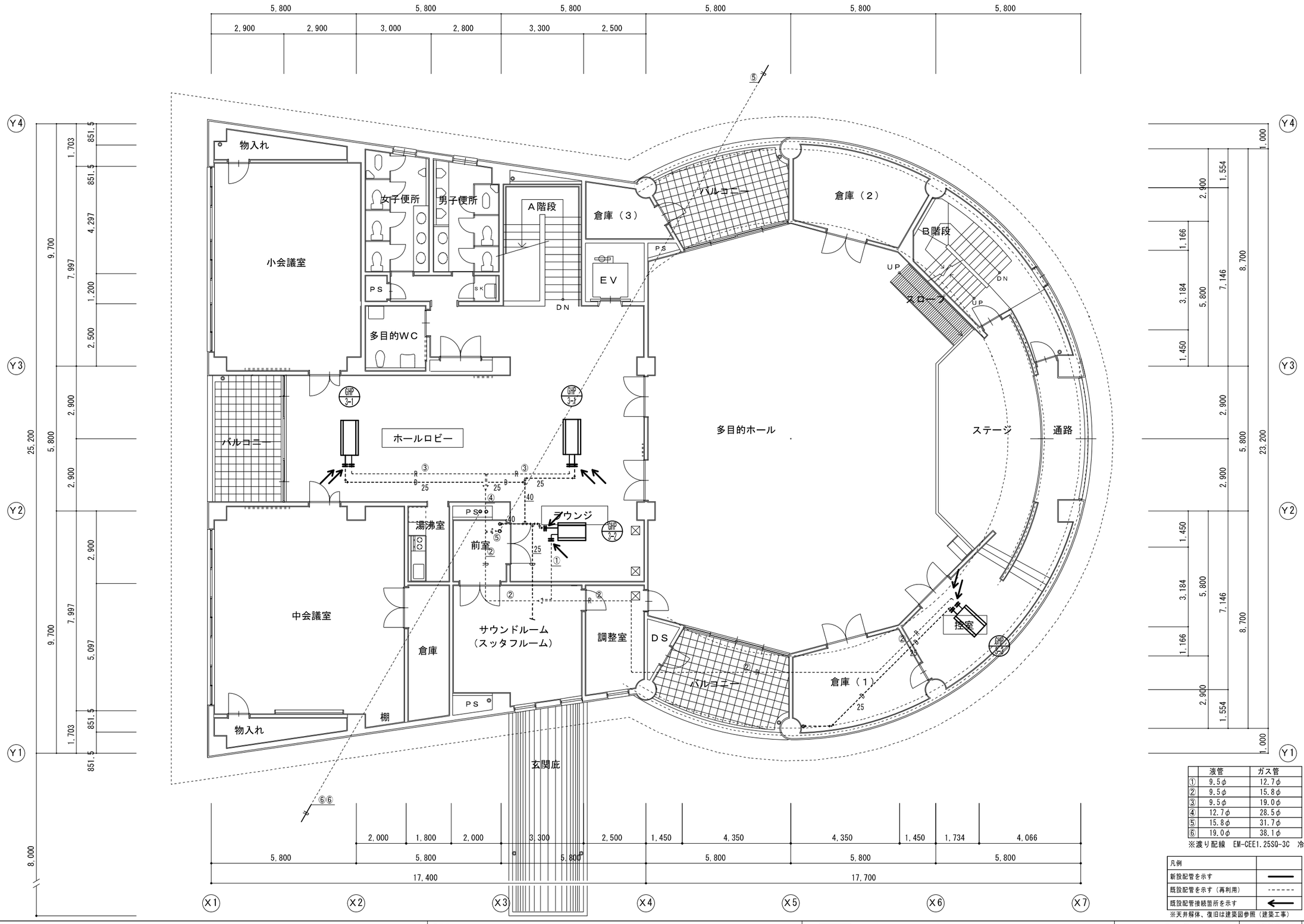
	液管	ガス管
①	9.5φ	12.7φ
②	9.5φ	15.8φ
③	9.5φ	19.0φ
④	12.7φ	28.5φ
⑤	15.8φ	31.7φ
⑥	19.0φ	38.1φ

※渡り配線　EM-CEE1.25SQ-2C　冷媒共巻

凡例	
新設配管を示す	――――
既設配管を示す（再利用）	- - - - - -
既設配管接続箇所を示す	←―――

※天井解体、復旧は建築図参照（建築工事）

特記	工事名	美旗市民センターロビーほか空調設備改修工事			白鳳アーキテック 株式会社	1級建築士事務所　登録（三重1－1987号） 〒518－0775　三重県名張市希央台5番町109番地 TEL　0595-48-6066　FAX　0595-48-6067 E-mail　h.a.t@tuba.ocn.ne.jp	承認	管理建築士	印
	図名	1階平面図（空気調和設備）	縮尺 A2：1／100 A3：1／141	図面番号 M－03			田中 西尾 安井	1級　256630号 萱室　敦司	萱室
							図面提出日　2024／07／31		



	液管	ガス管
①	9.5φ	12.7φ
②	9.5φ	15.8φ
③	9.5φ	19.0φ
④	12.7φ	28.5φ
⑤	15.8φ	31.7φ
⑥	19.0φ	38.1φ

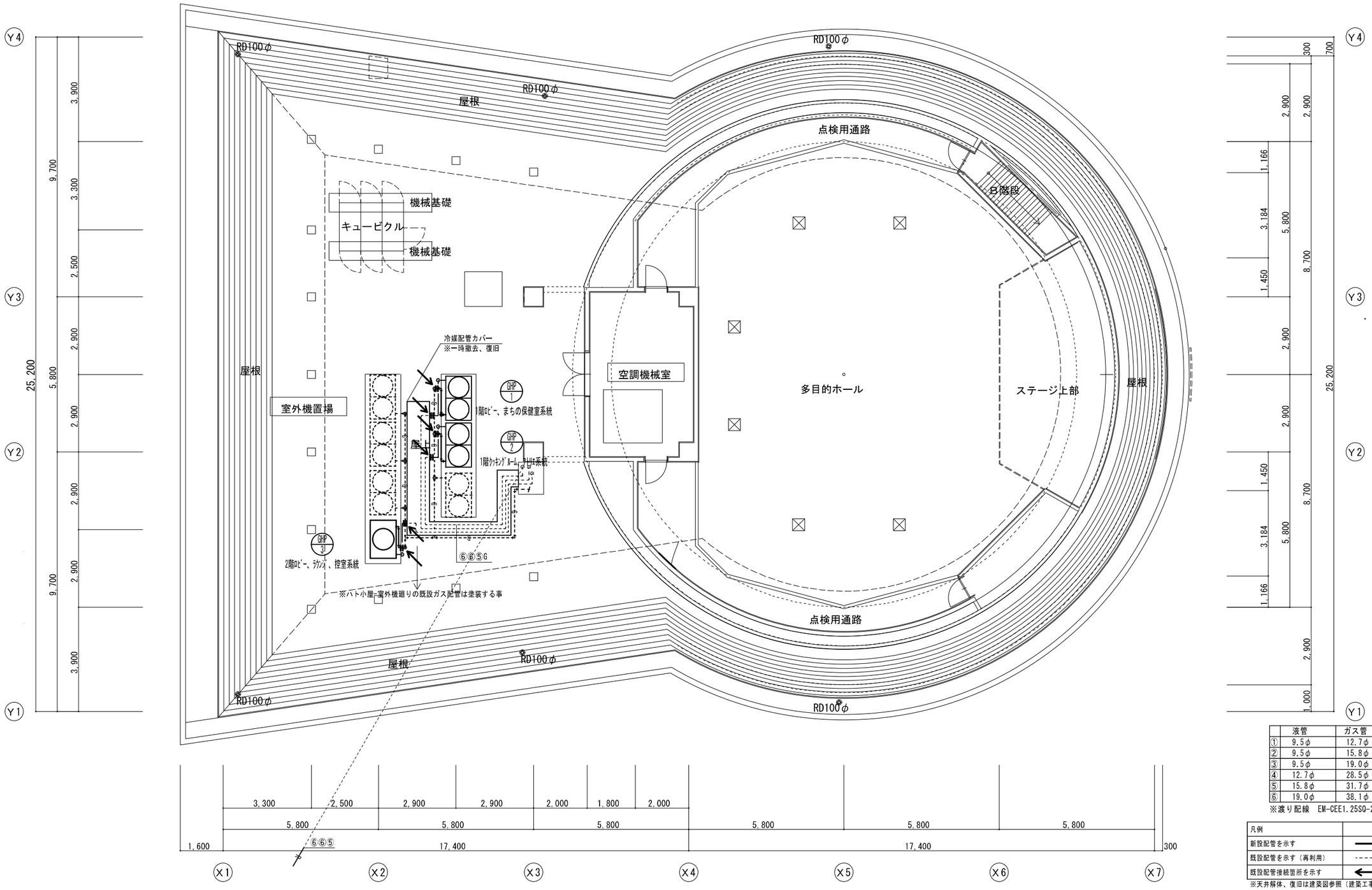
※渡り配線　EM-CEE1.25SQ-3C　冷媒共巻

凡例	
新設配管を示す	━━━
既設配管を示す（再利用）	- - - - - -
既設配管接続箇所を示す	←━━

※天井解体、復旧は建築図参照（建築工事）

特　記	工事名	美旗市民センターロビーほか空調設備改修工事	HAKUHO Architech 白鳳アーキテック　株式会社	1級建築士事務所　登録（三重1－1987号） 〒518－0775　三重県名張市希央台5番町109番地 TEL　0595-48-6066　FAX　0595-48-6067 E-mail　h.a.t@tuba.ocn.ne.jp	承　認：田中　西尾　安井
	図名	2階平面図（空気調和設備）	縮尺 A2：1／100　A3：1／141	図面番号 M－04	図面提出日　2024／07／31

管理建築士：1級　256630号　萱室　敦司　　印：萱室



	液管	ガス管
①	9.5φ	12.7φ
②	9.5φ	15.8φ
③	9.5φ	19.0φ
④	12.7φ	28.5φ
⑤	15.8φ	31.7φ
⑥	19.0φ	38.1φ

※渡り配線　EM-CEE1.25SQ-2C　冷媒共巻

凡例	
新設配管を示す	━━━
既設配管を示す（再利用）	------
既設配管接続箇所を示す	←

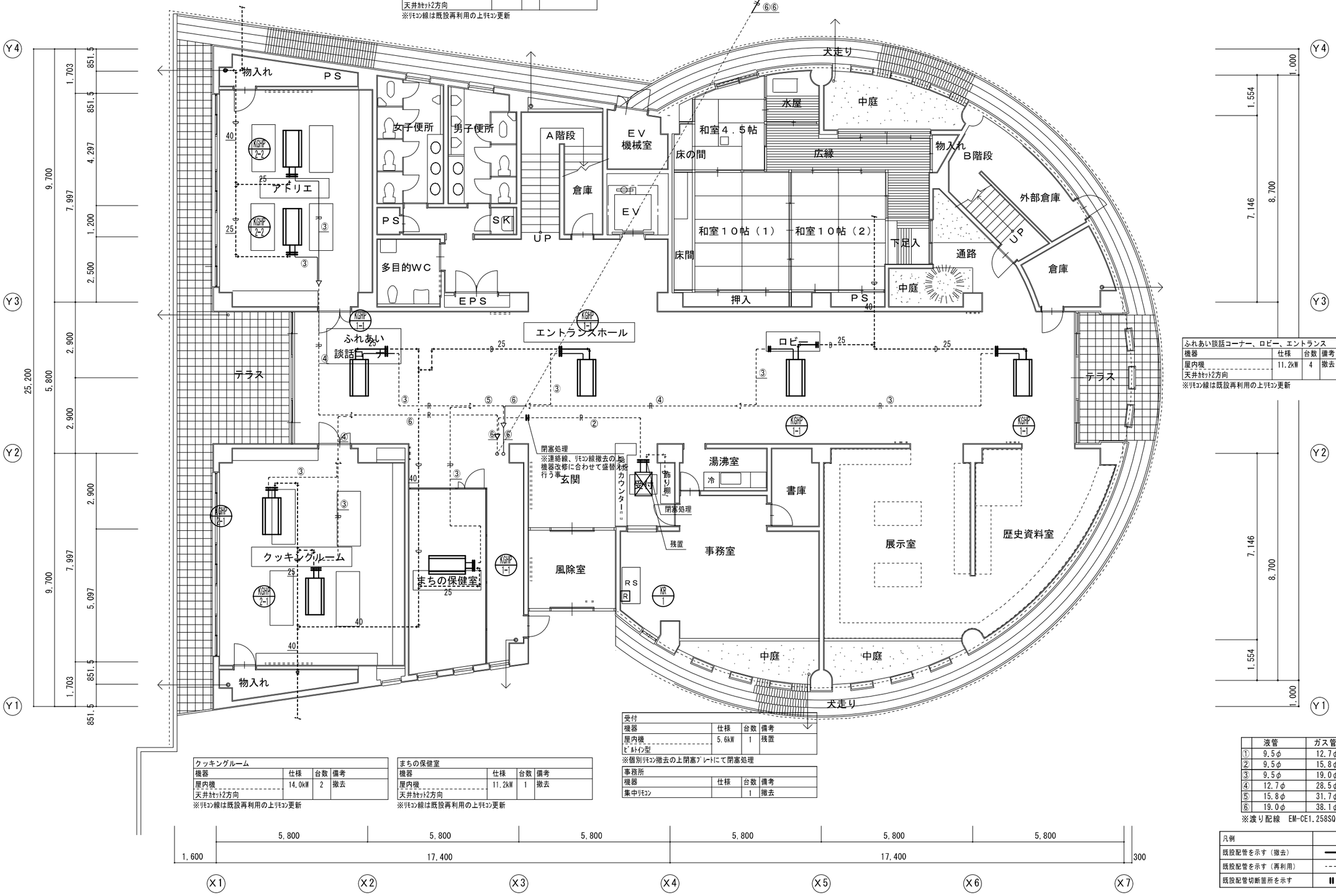
※天井解体、復旧は建築図参照（建築工事）

特　記	工事名	美旗市民センターロビーほか空調設備改修工事		HAKUHO Architech 白鳳アーキテック　株式会社	1級建築士事務所　登録（三重1－1987号） 〒518－0775　三重県名張市希央台5番町109番地 TEL　0595-48-6066　FAX　0595-48-6067 E-mail　h.a.t@tuba.ocn.ne.jp
	図名	PH階平面図（空気調和設備）	縮尺 A2：1／100 A3：1／141	図面番号 M－05	

承　認				管理建築士	印
	田中	西尾	安井	1級　256630号 萱室　敦司	萱室
図面提出日	2024／07／31				

アトリエ			
機器	仕様	台数	備考
屋内機 天井ｶｾｯﾄ2方向	11.2kW	2	撤去

※ﾘﾓｺﾝ線は既設再利用の上ﾘﾓｺﾝ更新



ふれあい談話コーナー、ロビー、エントランス			
機器	仕様	台数	備考
屋内機 天井ｶｾｯﾄ2方向	11.2kW	4	撤去

※ﾘﾓｺﾝ線は既設再利用の上ﾘﾓｺﾝ更新

クッキングルーム			
機器	仕様	台数	備考
屋内機 天井ｶｾｯﾄ2方向	14.0kW	2	撤去

※ﾘﾓｺﾝ線は既設再利用の上ﾘﾓｺﾝ更新

まちの保健室			
機器	仕様	台数	備考
屋内機 天井ｶｾｯﾄ2方向	11.2kW	1	撤去

※ﾘﾓｺﾝ線は既設再利用の上ﾘﾓｺﾝ更新

受付			
機器	仕様	台数	備考
屋内機 ﾋﾞﾙﾄｲﾝ型	5.6kW	1	残置

※個別ﾘﾓｺﾝ撤去の上閉塞ﾌﾟﾚｰﾄにて閉塞処理

事務所			
機器	仕様	台数	備考
集中ﾘﾓｺﾝ		1	撤去

	液管	ガス管
①	9.5φ	12.7φ
②	9.5φ	15.8φ
③	9.5φ	19.0φ
④	12.7φ	28.5φ
⑤	15.8φ	31.7φ
⑥	19.0φ	38.1φ

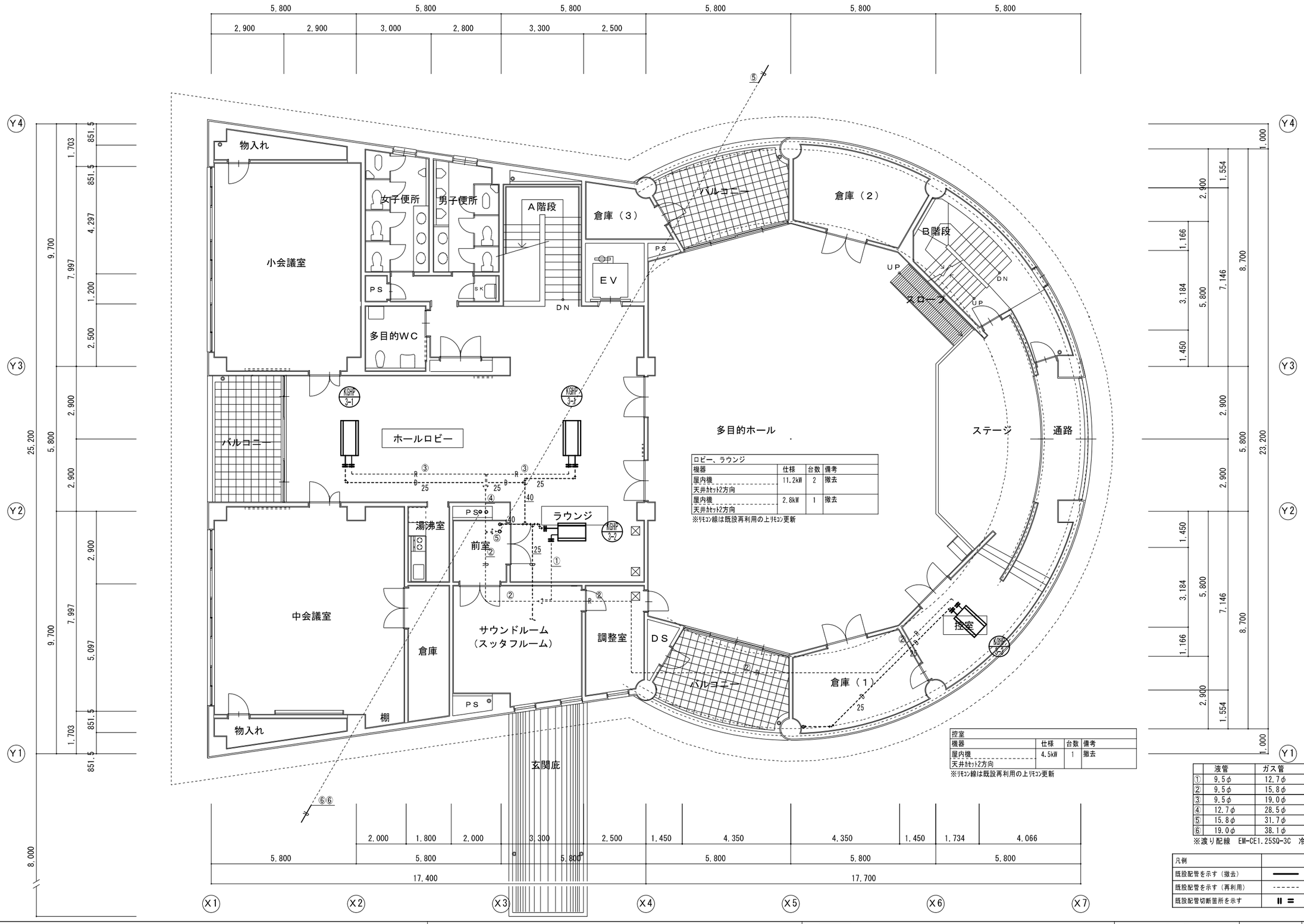
※渡り配線　EM-CE1.258SQ-3C　冷媒共巻

凡例	
既設配管を示す（撤去）	━━━
既設配管を示す（再利用）	------
既設配管切断箇所を示す	‖ ＝

特記		工事名	美旗市民センターロビーほか空調設備改修工事		
		図名	既設１階平面図（空気調和設備）	縮尺 A２：１／１００ A３：１／１４１	図面番号 Ｍ－０６

HAKUHO Architech
白鳳アーキテック　株式会社
１級建築士事務所　登録（三重１－１９８７号）
〒518－0775　三重県名張市希央台5番町109番地
ＴＥＬ　0595-48-6066　ＦＡＸ　0595-48-6067
E-mail　h.a.t@tuba.ocn.ne.jp

承認			管理建築士	印
	田中	西尾	安井	１級　２５６６３０号 萱室　敦司	萱室
図面提出日	２０２４／０７／３１				



ロビー、ラウンジ			
機器	仕様	台数	備考
屋内機 天井カセット2方向	11.2kW	2	撤去
屋内機 天井カセット2方向	2.8kW	1	撤去

※リモコン線は既設再利用の上リモコン更新

控室			
機器	仕様	台数	備考
屋内機 天井カセット2方向	4.5kW	1	撤去

※リモコン線は既設再利用の上リモコン更新

	液管	ガス管
①	9.5φ	12.7φ
②	9.5φ	15.8φ
③	9.5φ	19.0φ
④	12.7φ	28.5φ
⑤	15.8φ	31.7φ
⑥	19.0φ	38.1φ

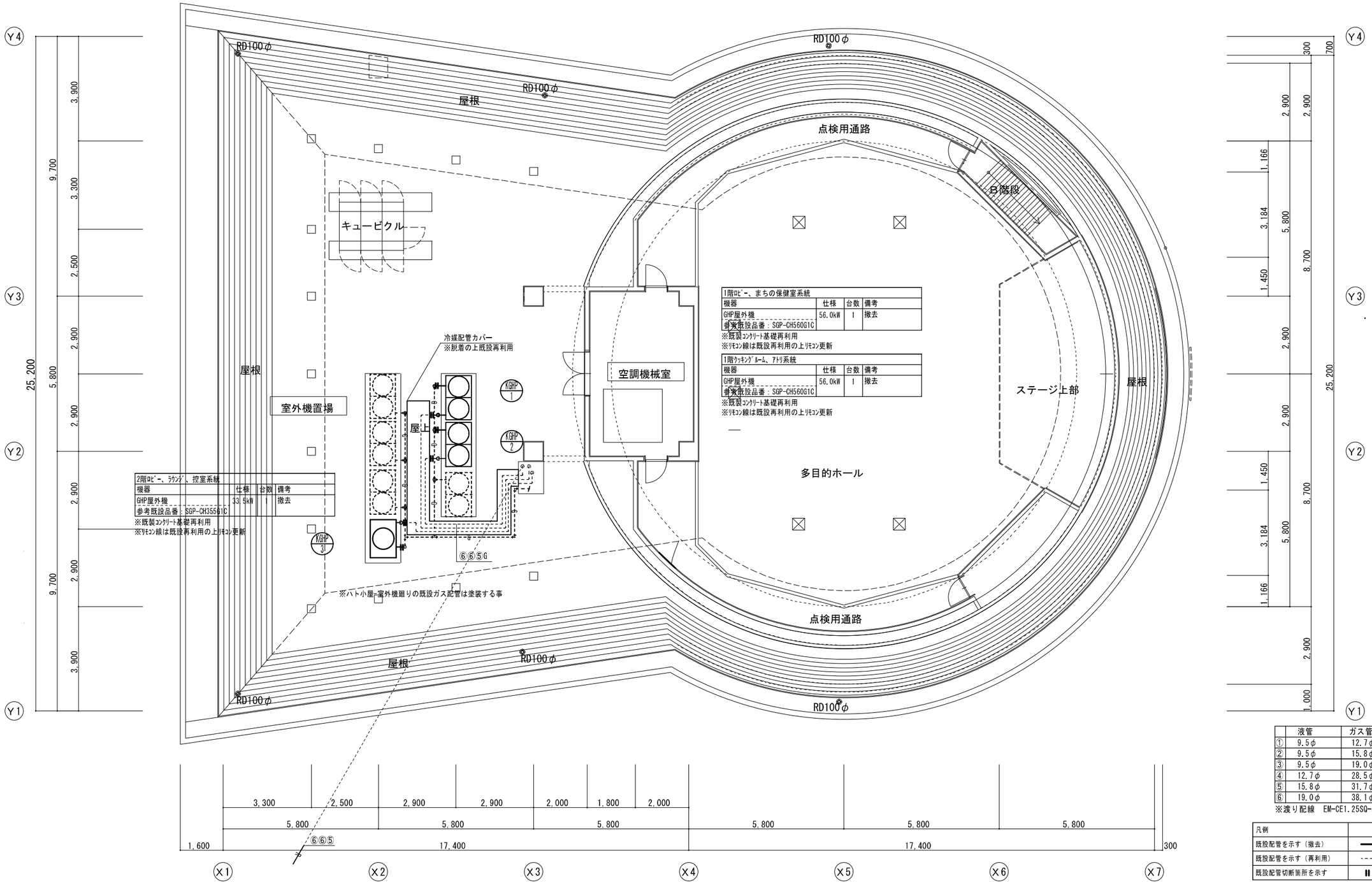
※渡り配線　EM-CE1.25SQ-3C　冷媒共巻

凡例	
既設配管を示す（撤去）	━━━
既設配管を示す（再利用）	------
既設配管切断箇所を示す	‖ ═

特記	工事名	美旗市民センターロビーほか空調設備改修工事	
	図名	既設２階平面図（空気調和設備）	縮尺 A２：１／１００ A３：１／１４１
	図面番号	Ｍ－０７	

HAKUHO Architech
白鳳アーキテック　株式会社
１級建築士事務所　登録（三重１－１９８７号）
〒518－0775　三重県名張市希央台5番町109番地
ＴＥＬ　0595-48-6066　ＦＡＸ　0595-48-6067
E-mail　h.a.t@tuba.ocn.ne.jp

承認				管理建築士	印
	田中	西尾	安井	１級　２５６６３０号 萱室　敦司	萱室
図面提出日	２０２４／０７／３１				



1階ﾛﾋﾞｰ、まちの保健室系統			
機器	仕様	台数	備考
GHP屋外機 参考既設品番：SGP-CH560G1C	56.0kW	1	撤去

※既製ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎再利用
※ﾘﾓｺﾝ線は既設再利用の上ﾘﾓｺﾝ更新

1階ｸｯｷﾝｸﾞﾙｰﾑ、ｱﾄﾘ系統			
機器	仕様	台数	備考
GHP屋外機 参考既設品番：SGP-CH560G1C	56.0kW	1	撤去

※既製ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎再利用
※ﾘﾓｺﾝ線は既設再利用の上ﾘﾓｺﾝ更新

2階ﾛﾋﾞｰ、ﾗｳﾝｼﾞ、控室系統			
機器	仕様	台数	備考
GHP屋外機 参考既設品番：SGP-CH355G1C	33.5kW	1	撤去

※既製ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎再利用
※ﾘﾓｺﾝ線は既設再利用の上ﾘﾓｺﾝ更新

	液管	ガス管
①	9.5φ	12.7φ
②	9.5φ	15.8φ
③	9.5φ	19.0φ
④	12.7φ	28.5φ
⑤	15.8φ	31.7φ
⑥	19.0φ	38.1φ

※渡り配線　EM-CE1.25SQ-3C　冷媒共巻

凡例	
既設配管を示す（撤去）	――――
既設配管を示す（再利用）	------
既設配管切断箇所を示す	‖ ＝

特記	工事名	美旗市民センターロビーほか空調設備改修工事		
	図名	既設ＰＨ階平面図（空気調和設備）	縮尺 Ａ２：１／１００ Ａ３：１／１４１	図面番号 Ｍ－０８

HAKUHO Architech
白鳳アーキテック　株式会社
１級建築士事務所　登録（三重１－１９８７号）
〒518－0775　三重県名張市希央台5番町109番地
ＴＥＬ　0595-48-6066　ＦＡＸ　0595-48-6067
E-mail　h.a.t@tuba.ocn.ne.jp

承認				管理建築士	印
	田中	西尾	安井	１級　２５６６３０号 萱室　敦司	萱室
図面提出日	２０２４／０７／３１				